



● 今後の開催予定 ●

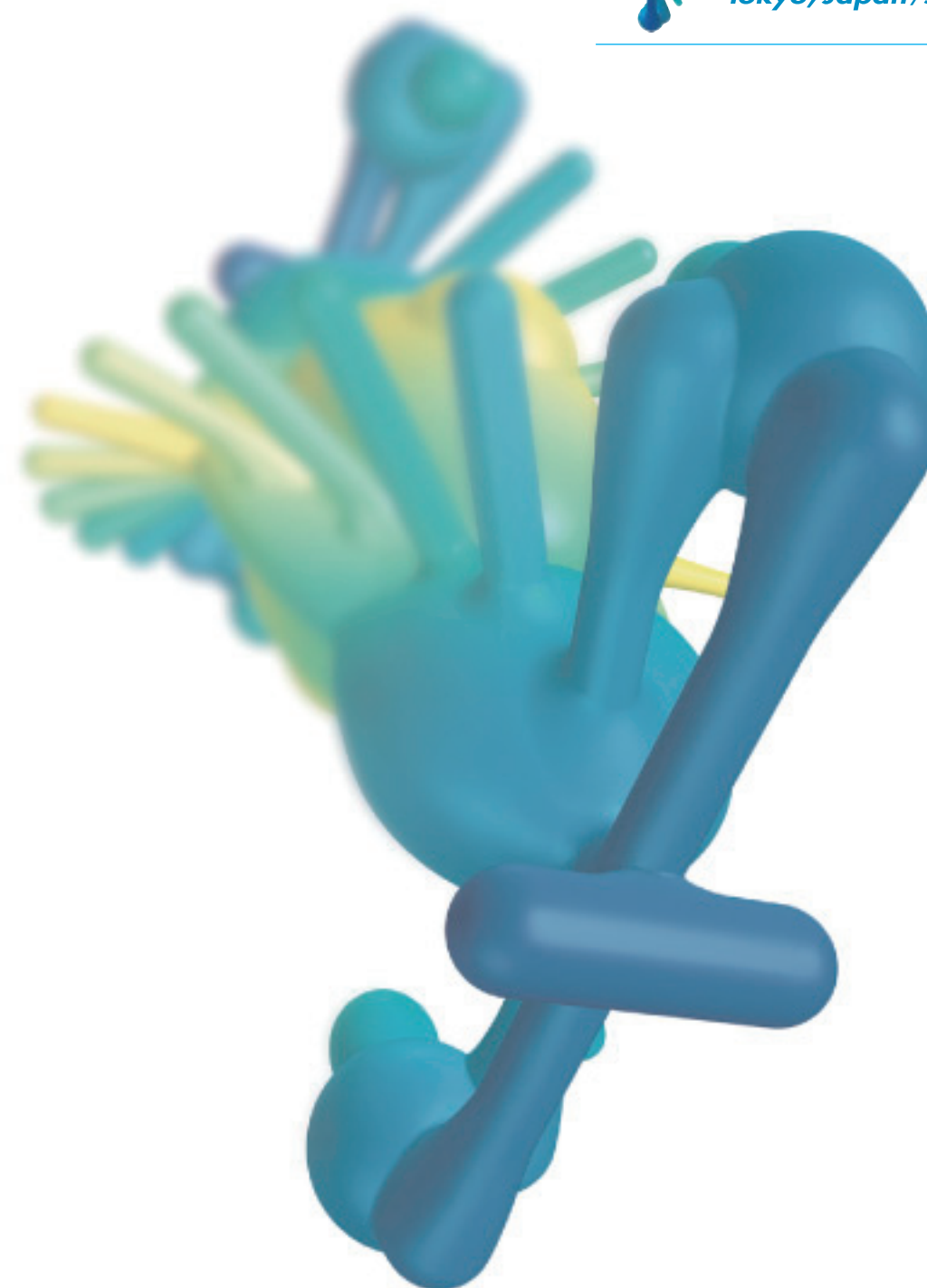
**JGAS2009**  
2009年10月6日(火)～10日(土)  
東京ビッグサイト

**IGAS2011**  
2011年9月21日(水)～27日(火)  
東京ビッグサイト

## IGAS2007 事業報告書

発行 印刷機材団体協議会  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 (機械振興会館)  
(社) 日本印刷産業機械工業会内  
TEL.03 (3434) 2656 FAX.03 (3434) 0301

(非売品)



## CONTENTS

■ごあいさつ —IGAS2007を終えて—	2	■展示会状況及び結果	
■開催概要	3	1. 国際化施策	16
■開会式・レセプション	4	2. 環境への配慮	16
■主催者挨拶	5	3. 出展者数および小間数	16
■ご祝辞	7	4. 来場者に関する集計	17
■主催者企画行事		新入場システム	17
1. 特別講演 —世界の紙幣印刷の現状とその動向—	8	総来場者数	17
2. 「国際印刷シンポジウム2007」 —アジアの印刷 その現状と将来—	9	前回（2003年）との比較	17
3. 先進技術ゾーン	10	海外からの来場者	17
4. VRシアター	11	来場者アンケートによる分析	18
5. ミズノプリンティングミュージアム	12	5. IGAS2007に見る技術トレンド	20
6. 出展者ビアパーティ	12	6. 主な宣伝広報活動	22
■会期中に開催されたイベント		広報宣伝印刷物	22
1. ISO/TC130東京会議（ISO TC130国際事務局主催）	13	IGAS2007ホームページ	23
2. グローバルプリント設立準備会議 （社団法人 日本印刷産業機械工業会主催）	13	新聞・雑誌広告	23
3. 世界印刷技術者会議 （社団法人 日本印刷産業連合会主催）	14	海外記者招待ツアー	23
4. 印刷コラボレーション展 （全日本印刷工業組合連合会および東京都印刷工業組合主催）	14	国際展示会での出展・来場誘致活動	23
5. JDFパビリオン（CIP4国際標準化団体主催）	15	印刷業界ユーザー団体への案内	23
		7. 出展者アンケートの集計	24
		国際化対応について	24
		展示規模について	24
		IGAS 2011に出展しますか	24
		お客様の入り	25
		その他多かったですご意見、ご提案	25
		■IGAS2007出展企業一覧	26
		■IGAS 2007運営機構	42
		■今後の開催予定	裏表紙





印刷機材団体協議会  
会長 小森 善治

## IGAS2007を終えて

世界4大印刷機材展のひとつとなり2回目のIGAS2007は、「プリントメディアの未来 信頼と進化」をテーマに、急速に発展する電子メディアといかに共栄を図るかを来場者と共に考える場として開催いたしました。このテーマに沿い、出展者各位におかれましては多様なニーズに対するソリューションを提供することを主眼とし、工夫を凝らした展示をしておりました。

また、国際展示会としての内容を深め魅力ある展示会とするため、主催者独自の企画として、発展著しいアジア諸国の代表を招聘した「国際印刷シンポジウム2007 -アジアの印刷 その現状と将来-」および特別講演会「世界の紙幣印刷の現状とその動向」を開催、さらに、印刷の過去と将来を一望できる「ミズノプリンティングミュージアム」、「VRシアター」、「先進技術ゾーン」を関係各位の多大なご協力のもとに設置しご好評をいただきました。

期間中には、社団法人日本印刷産業連合会様主催の「印刷文化典」記念行事と「第2回世界印刷技術者会議」、東京都印刷工業組合様主催による「印刷コラボレーション展」などの行事が行われました。また、出展企業によるセミナー、代理店会議やユーザー会なども連日盛大に行われ、展示会の雰囲気盛り上げていただきました。

また、印刷技術の国際標準化を審議する「ISO/TC130東京会議」、世界12カ国の印刷産業機械工業会が連合する「GlobalPrint」の設立準備会も期間中に行われましたが、当協議会はそれらのスポンサーとしてその成功に寄与することができました。

このように、各出展者の熱意あふれるブース展示に加えて様々なイベントが開催され、来場者の最終集計は130,164人に達し、このうち海外からの来場者は76カ国12,852人でありました。これはdrupaに次ぐ入場者数であります。前回以来4年に亘りIGASの広報活動を続けてまいりましたが、世界中の主要な企業、業界団体、展示会主催者のトップの方々をお迎えすることもできました。

ご評価としては、出展者の方々からは「良い成果を得た」、海外の報道からも「前回よりさらに充実し内容の濃いものになった」などのお言葉をいただくことができました。これもひとえに関係各位のご支援・ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

今回のIGAS2007の成功は、関係各位のご努力、ご支援、ご協力によるものと改めて御礼申し上げます。

今回はIGAS2011となりますが、平成23年9月21日(水)より今回と同じ東京ビッグサイトにて開催する予定です。今までの経験を踏まえ、さらに魅力ある国際展示会とするため一層の努力をいたしますので、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



- 名 称 IGAS 2007 (国際グラフィックアーツ総合機材展)  
International Graphic Arts Show 2007
- 開催趣旨 本展示会は、印刷機材団体協議会 (JGASC) が主催するグラフィックアーツ総合機材展であり、最新の印刷・紙工の機材を一堂に会したイベントを通して、将来の印刷やその動向への理解を深める場を提供すると同時に、印刷産業を担う人材の国際的交流を図り、印刷関連業界の活性化や興隆に寄与することを目的とする。
- テ ー マ The Future of The Print Media -Reliability & Progress-  
プリントメディアの未来 -信頼と進化-
- 会 期 2007年9月21日 (金) ~27日 (木) 7日間
- 開場時間 10:00~17:00 (最終日9月27日は16:00まで)
- 会 場 東京ビッグサイト
- 出 展 者 550社
- 展示規模 4,810小間 (42,430m<sup>2</sup>)
- 展示総面積 80,660m<sup>2</sup>
- 会場総面積 243,420m<sup>2</sup>
- 入 場 料 一日券1,000円 / 通し券 2,000円  
(事前登録) 通し券 1,000円
- 主 催 印刷機材団体協議会 (JGASC)  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8  
機械振興会館401-2号室  
社団法人 日本印刷産業機械工業会 内
- 後 援 経済産業省、東京都、日本貿易振興機構 (ジェトロ)  
社団法人日本印刷産業連合会  
全国段ボール工業組合連合会  
全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
- 出展参加国 22カ国・地域  
ベルギー・カナダ・中国・チェコ・デンマーク・  
フランス・ドイツ・インド・イスラエル・イタリア・  
韓国・オランダ・ポーランド・シンガポール・  
スペイン・スウェーデン・スイス・タイ・台湾・英国・  
アメリカ・日本



会期初日の9月21日9時30分より、IGAS2007の開会式がご来賓の方々のご臨席のもとに実施された。海外からは drupa2008会長アルベイト・ボルツシューメン氏、メッセデュッセルドルフ社長ベルナー・ドルンシャイト氏、米NPES

社長ラルフ・ナッピ氏をはじめ、GlobalPrint設立準備会議メンバーである中、印、独、英、仏、伊、西の印刷機材工業会代表の方々が出席された。

## 開会式

日時：平成19年9月21日（金）9：30～10：25  
場所：東京都江東区有明3-2-1  
東京ビッグサイト レセプションホールA

### 1. 開会の挨拶

印刷機材団体協議会 会長 小森 善治

### 2. ご祝辞

経済産業副大臣 中野 正志 殿  
社団法人 日本印刷産業連合会 会長 山口 政廣 殿

### 3. テープカット

経済産業副大臣 中野 正志 殿  
経済産業省 製造産業局産業機械課 課長 秋庭 英人 殿  
社団法人 日本印刷産業連合会 会長 山口 政廣 殿  
全日本印刷工業組合連合会 会長 浅野 健 殿  
EUMAPRINT 会長 カイ・ブンテマイヤー 殿  
全米印刷機械業者連合会（NPES）会長 トーマス・サッジオモ 殿  
印刷機材団体協議会 会長 小森 善治

## レセプション

日時：平成19年9月21日（金）10：30～11：30  
場所：東京都江東区有明3-2-1  
東京ビッグサイト レセプションホールB

### 1. 挨拶

社団法人 日本印刷産業機械工業会 副会長 石田 明

### 2. ご挨拶

全米印刷機械業者連合会（NPES）会長 トーマス・サッジオモ 殿

### 3. 乾杯

全日本印刷工業組合連合会 会長 浅野 健 殿



印刷機材団体協議会  
会長 小森 善治

本日は大変お忙しい中、IGAS2007開会式にご出席を賜り誠に有難うございます。

本日より7日間にわたって、「プリントメディアの未来－信頼と進化－」をテーマに、IGAS2007を開催いたします。

今回は、東京ビッグサイト東西全館を使用した4810小間に、世界中より550社が出展いたしますが、最新の印刷関連機器が多数出展されており、大変充実した内容の展示会であると自負しております。開催期間中の来場者は12万5千人、その内、海外からの来場者は1万2千人を見込んでおり、国際印刷機材展として出展者・来場者の皆様のご期待に十分お応えできるものと確信しております。

このIGAS2007は、展示内容の充実は勿論ですが、それ以外にも日本ならではの企画の実現に努めました。

具体的には、西館アトリウムに於きまして、日本国内の大学・研究機関から未来の印刷関連技術を展示・紹介する「先進技術ゾーン」、先進デジタル画像処理技術を駆使した「VRシアター」、印刷の歴史的価値の高いコレクションを展示した「ミズノプリンティングミュージアム」が、関係者各位のご協力とご尽力により今回実現いたしました。

また、会議棟に於きましては、急速に発展するアジア各国を代表する大学教授の皆様方による「国際

印刷シンポジウム」、印刷朝陽会・事務局長 植村峻氏による特別講演「世界の紙幣印刷の現状と動向」を開催いたします。

その他、出展者によるセミナーやパーティなども数多く行われる予定でございます。

さらに、IGAS2007開催期間中に、社団法人日本印刷産業連合会様の主催により「印刷の月」記念行事ならびに「アジアの印刷 その現状と将来」をテーマとした「世界印刷技術者会議」が開催されます。

また、国際会議として、印刷技術の標準化を審議する「ISO/TC130（印刷技術）東京会議」、世界12カ国の印刷産業機械工業会が連合体を組織するための「GlobalPrint設立準備会議」が行われます。

今回これらのIGASならびに関連の国際的行事に世界各国より多くの方々をお迎えすることで主催者としてグローバル化の進展を実感しております。

私ども主催者一同は、出展者の皆様方にとりまして営業的に実りある、また、来場者の皆様方にとりまして知識・経験を深め、そのことを確認できる展示会を運営するよう努力いたします。

本日ご出席の皆様方のご協力をお願いしてご挨拶とさせていただきます。

本日は誠に有難うございました。





経済産業副大臣  
中野 正志 殿

本日、ここに「IGAS2007」が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げますとともに、一言御挨拶申し上げます。

本展示会は、1973年に第1回目を開催されて以来、歴史と実績を重ねてこられ、1999年には4大国際展示会の一つに位置付けられました。今回は、参加企業数が約550社にも上る大変盛大な会となりました。これもひとえに、印刷機材業界の方々をはじめとする関係各位の熱意のたまものであり、深く敬意を表する次第であります。

改めて申し上げるまでもなく、印刷機材は、出版物をはじめ、衣料、日用品や美術品などに至るまで、様々な産業を支えるとともに、我が国の文化の発展にも貢献してきました。今後はさらに、産業のデジタル化の進展や情報通信インフラの進化といった環境変化に対応して、ユーザーニーズに的確に応える新しい技術・製品を作り出していくことが期待されています。

今回出展されている多くの印刷機材も、最新の技術を駆使し、その性能を大きく向上させたものと伺っております。また、今回は併せて「国際印刷シンポジウム」も開催され、発展著しいアジアの印刷産業の現状と今後の展望をテーマとした講演や

交流会も行われると伺っています。このように、印刷技術に関する情報発信の場となるだけではなく、新しいビジネスモデルの展開を模索する場ともなる本展示会は、我が国の印刷関連業界にとって誠に意義深いものであると考えております。

さて、現在の我が国経済は長期に亘る景気拡大を続けておりますが、地域ごとの景気実感にはばらつきがあり、また中小企業にもその実感が広がっておりません。印刷機材の製造をはじめとするものづくりは、我が国の産業や文化の発展を支える礎です。景気回復を国全体に行き渡らせるとともに、我が国経済を持続的に成長させていくためには、今以上にものづくりを強化していくことが必要です。

経済産業省としましても、IT投資促進に向けた税制措置や、地域におけるものづくり中小企業等の支援等を始めとして、我が国ものづくりの強化に向けた取組を進めてまいります。

最後に、本展示会の成功と、我が国の印刷業界のますますの御発展、そして本日お集まりの皆様方の御健勝を祈念いたしまして、私の御挨拶とさせていただきます。



社団法人  
日本印刷産業連合会  
会長 山口 政廣 殿

皆様おはようございます。

ご紹介いただきました、日本印刷産業連合会の山口でございます。

国際総合印刷機材展である「IGAS2007」の開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

今回のIGASは、「プリントメディアの未来—信頼と進化」をキャッチフレーズに、展示規模は前回は大幅に上回り、国内外から12万5千人の来場者が見込まれるなど、名実ともに世界四大機材展の一つとして、IGASの果たす役割は誠に大きいものがあります。

さて、今日わが国におきましては、情報ネットワーク化・グローバル化の一層の進展、環境保全など社会変革の大きな

波が押し寄せ、印刷産業を取り巻く市場環境も変化しつつあります。

そのため、こうした変革に対応する新しい生産体制の構築と新技術開発、そして環境保全対応などが急務となっております。IGAS2007が印刷産業の今後進むべき生産システムや技術面での指針を策定する上で、必ずや的確な示唆が得られるものと期待いたします。

最後になりましたが、IGAS2007の輝かしいご成功を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

ありがとうございました。



1 特別講演 —世界の紙幣印刷の現状とその動向—



世界的に偽造紙幣の問題等が取り沙汰される昨今、最先端の紙幣印刷技術に対する期待が一層高まっている。そうしたなか、植村峻氏（財団法人印刷朝陽会事務局長）を講師に迎えて「世界の紙幣印刷の現状とその動向」をテーマに、特別講演を行った。

本講演では、大蔵省印刷局勤務等を経て、紙幣や切手印刷の調査研究に尽力し、多数の著作も手がける植村氏の経験と見識を踏まえ、紙幣の製造動向をはじめ、印刷機材、偽造動向と対策、プラスチック・マネーの台頭など、さまざまな角度から世界の紙幣印刷にまつわる最新事情を語っていただいた。

会場は最先端の紙幣印刷技術の情報を接しようとする詰めかけた関係者で満員となり、講師の話に耳を傾けた。「紙幣、銀行券の歴史とその役割」では“コインに代わり素材価値のない紙幣、銀行券はなぜ誕生したのか” “紙幣、銀行券は最初は文字だけ

だった”など、参加者の知的好奇心を刺激する内容でスタートした。

「紙幣、銀行券に使われている特殊な印刷技法など」の章では、偽造防止のために人物肖像や風景、建物等の表現、線画方式での表現、重厚感や装飾性に注意していること。また、印刷技術に関しては、紙幣製造に使われている凹版印刷やドライオフセット印刷、プロセス網点方式を避ける特色印刷をはじめ、透かし、セキュリティ・スレッドの採用、ポリマー紙幣、ホログラム、色に変化するOVIやパールインキ、エンボス加工、UV発光インキなど特殊な技法が使用されている現状を紹介した。

また「世界の主要国における銀行券の需要と製造の動向」では、2,000円券が流通しない原因や、その他にSuicaなど電子マネーの普及やクレジットカードの浸透によるキャッシュレスの実情を解説した。

講演内容は紙幣の歴史から特殊印刷、紙幣偽造まで多岐にわたり、参加者からは「印刷関係者でなくとも興味をひかれる内容で楽しめた」などの声が聞かれた。



2 国際印刷シンポジウム2007 —アジアの印刷 その現状と将来—

9月25日(火) 午前10時半より、「国際印刷シンポジウム2007」がIGAS2007会場内会議棟において行われた。

今回は、シンポジウムテーマを「アジアの印刷 その現状と将来」とし、躍進するアジア主要国におけるマルチメディア時代の印刷産業、印刷技術、印刷教育・人材育成の現状と展望を、大学研究機関の一流講師陣による講演および各国関係者との交流を通じて探索することとした。

この目的のためアジア主要国より招聘した講演者を下記に紹介する。（当日の講演順）

- （日本）三宅 洋一博士、千葉大学教授
  - （タイ）Aran Hansuebsai博士、チュラロンコン大学准教授
  - （韓国）Cheol-Hee Lee博士、アンドン国立大学准教授
  - （インド）Lalitha Jayaraman博士、アナ大学教授
  - （中国）PU,Jia-Ling博士、北京印刷学院 副院長・教授
- 定員120名をはるかにオーバーする申し込みが殺到し多数が空席待ちの状況となった。当日は満席の状況となり、夕刻まで各国の講演と質疑応答が活発に行われた。5ヶ国からの講演終了後には参加者全員が参加できる懇親パーティが開かれ、講師との意見交換や参加者同士の交流が和やかな雰囲気の中で行われた。



シンポジウムは、座長および日本代表、千葉大学教授三宅洋一氏の講演で開始した。三宅氏は「若者の活字離れなどにより伝統的な印刷は年々事業数、生産高が減少しているが、最近では液晶フィルターやIC製造、有機EL印刷、DNAチップなど新しい分野への印刷技術の応用が活発となった。一方、画像情報のデジタル化・マルチメディア化が進み、目標とする色再現を達成するためのカラーマネジメントが重要な技術になり、分光

的な色再現、光沢、テクスチャーなど質感をも含めた色再現、画像再現が要求されている」と日本の現状を紹介した。

続いてタイのチュラロンコン大学准教授Aran Hansuebsai氏が「デジタル化が急速に浸透した。DTPが普及し、インターネットとデジタルメディアが印刷物の販売を変えつつある。デジタル複写機は小規模印刷会社のオフセットデュープリケーターを置き換えてしまうだろう。CTPの設置は約50台、オンデマンド印刷市場は10%の伸びが予測されている」と報告した。

韓国のアンドン国立大学准教授Cheol-Hee Lee氏は「プリンター市場は2006年には半導体産業を上回り1,310億USドルになった。より高品質の印刷やオンデマンド印刷が求められ、従来のアナログ方式オフセット印刷はデジタルカラー印刷に取って代わられた。ニーズに応え、より自然な色彩再現や高速のコーデック、革新的な印刷機器の開発に挑戦している」と講演した。

さらにインド代表のアナ大学教授Lalitha Jayaraman氏が「産学間の協力は当学が特に誇るものである。他国からの研究者・学生の受け入れ体制、商社や他大学との共同研究プロジェクトも進んでいる。産業界ではCTPのような最新の技術や、プルーフイング、色彩管理なども行われている」と解説した。

最後に中国の北京印刷学院副院長の蒲嘉陵博士が「印刷製品の総出荷量は過去10年間にわたり1%以上の成長率で伸び、GDPの1.82%を占めている。CTP技術の導入は年180台のプレートセッター設置という高成長段階へと移行した。CTFのような古い技術からCTP+CIMのような新しい技術へと変遷を遂げつつある。また、印刷教育に関しては16以上の大学・機関が学士課程を、11以上が準学士課程を提供している」と発展の様子を述べた。



### 3 先進技術ゾーン

新技術は産業の存続と発展のための源泉であり、それがなければその産業は衰退する。全国の大学研究室や研究機関では、印刷産業に関連する又は影響を及ぼすであろう先進技術が数多く研究されているが、一般の印刷産業界では普段あまり目にすることがない

縁遠い存在である。IGASでは、これら先進的な研究成果を印刷産業界に紹介し研究開発の産学交流を促進するための特別企画を毎回組んでいるが、今回は規模を前回の2倍に拡大し、未来のプリントメディアを支える「先進技術ゾーン」として展開した。

分野	小間番号	出展大学・団体	詳細
情報・画像・色	W501	筑波大学	先端学際領域研究センター 智慧情報研究室
	W502	電気通信大学	大学院電気通信学研究所 電子工学専攻 金子研究室
	W503	千葉大学	大学院融合科学研究科 (工学部情報画像工学科) 像感性工学分野
	W504	千葉大学	大学院融合科学研究科 物理情報工学領域 三宅研究室、津村研究室、中口研究室
	W505	早稲田大学	大学院国際情報通信研究所 河合隆史研究室
	W506	長岡技術科学大学	環境・建設系 環境リモートセンシング研究室
	W507	日本印刷学会	標準化委員会
	W508	東京工業大学	大学院総合理工学研究科 人間環境システム専攻 中村芳樹研究室
	W509	東京電機大学	理工学部 情報システムデザイン学系 エルゴノミクスデザイン研究室
電子ディスプレイ	W510	東海大学	光・画像工学科 面谷研究室
	W511	東京工芸大学	大学院ハイパーメディア研究センター 色彩画像研究室
			大学院ハイパーメディア研究センター ディスプレイデバイス研究室
			大学院ハイパーメディア研究センター 電子画像研究室
	W512	千葉大学	大学院工学研究科 人工システム科学専攻 電気電子系コース 伊藤智義研究室
W513	千葉大学	大学院融合科学研究科 情報科学専攻 北村・宮川研究室	
材料・精密加工	W514	名古屋工業大学	大学院工学研究科 機能工学専攻・薄膜研究室
	W515	慶應義塾大学	理工学部 物理情報工学科 松本研究室
	W516	千葉大学	大学院融合科学研究科 情報科学専攻 画像マテリアルコース 小関研究室
	W517	東京工業大学	大学院理工学研究科 附属像情報工学研究施設 半那研究室
	W518	東京大学	大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 製紙科学研究室(協力：白石中央研究所)
	W519	東京農工大学	大学院共生科学技術研究院 環境資源共生科学部門 岡山研究室、服部研究室
機械・システム	W520	長岡技術科学大学	システム安全系 システム安全研究室
	W521	東海大学	工学部 機械工学科 橋本研究室
環境	W522	東海大学	理学部 化学科 環境化学研究室
	W523	産業技術総合研究所	環境管理技術研究部門
	W524	横浜国立大学	大学院環境情報研究院 環境安全管理学研究室 (亀屋研究室) 安心・安全の科学研究教育センター 環境安全科学研究室 (小林研究室)

「先進技術ゾーン」は西館1階メインゲートを通ったすぐ目の前に設置され、全国24の大学研究室及び研究機関が参加した。展示会場は「情報・画像・色」「電子ディスプレイ」「材料・精密加工」「機械・システム」「環境」の5分野に分けられ、印刷メディア及び印刷関連産業の未来を担う多くの先進技術が紹介され、多数の来場者を集めた。各ブースでは説明パネルに加えて大型モニターや研究試作品などの実物展示も多くあり、来場者は熱心に説明に聞き入っていた。さらに、各研究室からの展示内容を日英二ヶ国語でまとめた冊子を編集し無償配布、国内外の来場者から、展示内容を理解したり後々コンタクトするために非常に役に立つと好評を博した。

このゾーンは、研究機関が保有する技術シーズと、産業界の新しいニーズを結びつける産学交流の場として設置されたが、IGASを訪れた13万人を超える関係者に大学の研究というものの存在を知らしめた



意義は大きく、逆に、大学研究者側に印刷産業界の実態を認識してもらった意義も大きい。総じて、今回のIGAS先進技術ゾーンは産学連携の絆としての役割を十分に果たすことができたものといえる。



### 4 VRシアター

西館1階アトリウムで、凸版印刷(株)様のご協力により「VRシステム」による「江戸城」の上映が330インチの大型スクリーンを使用し、30分間隔で行われ、連日人気を集めた。

この「VRシステム」は同社が文化財や美術工芸品など数多くの文化遺産を、デジタルアーカイブとしてデジタル化してきたノウハウをもとに、3次元コンピュータグラフィックス技術を付加して開発したものである。実際に「VRシステム」を体験してみると、3次元コンピュータグラフィックスで再現された「江戸城」の映像の中を、まるで小さな鳥になったような視点で自由に移動しているように感じられた。

印刷のグラフィック技術を進化させた新しい表現方法として注目されている「VRシステム」は、博物館や美術館、イベントなどにおいて高い集客効果が期待できるコンテンツとして、または企業のプロモーションなど、幅広い分野で活用できると期待されている。



## 5 ミズノプリンティングミュージアム

ミズノプリンティングミュージアムは、古今東西の印刷の歴史的資料を集めた博物館で、印刷会社ミズノプリテック（株）の社長・水野雅生氏が40余年にわたり収集したコレクションを展示・公開している。今回、同氏のご協力により、IGAS2007 展示会場（西館1階アトリウム）での移設展示を実施した。

コレクションをはじめた動機について水野氏はドイツに留学中に、ケンブリッジ大学の図書館で

百科事典を開いていたところ、日本の百万塔陀羅尼経が現存する世界最古の印刷物であると書かれていて大変感銘を受けたことが始まりだったという。

この他にも、会場ではゲーテンベルグ「42行ラテン語聖書」（1455年）をはじめ、内外の貴重なコレクションを展示し、印刷の実演もあり、多くの来場者の興味を引いた。



## 6 出展者ビアパーティ

IGASも中日を過ぎた9月25日、出展者への慰労・懇親のためビアパーティを開催、出展者、協力業者など約350人が参加し、歓談し親睦を深めた。

日時：平成19年9月25日（火） 17：30～19：00  
場所：レストランニュートーキョー  
挨拶：印刷機材団体協議会 副会長 白井 宏

この席で、展示会運営に際しご協力を頂いた以下の9社に感謝状とお礼が贈呈された。（順不同）

- 株式会社ヤマザキ工業、
- 飯田電機工業株式会社、
- 株式会社廣目屋、
- 株式会社東京ビッグサイト、
- 東洋相互警備保障株式会社、
- 株式会社ビッグサイトサービス、
- 山九株式会社、
- 株式会社イン・サポート、
- 株式会社ケン&スタッフ



## 1 ISO/TC130東京会議（ISO TC130国際事務局主催）

9月24日（月）より29日（土）まで会議棟7階において、国際標準化機構（ISO）の印刷技術に関する規格を策定する「ISO/TC130東京会議」が開催された。アメリカ、ドイツ、イギリス、タイ、スイス、ブラジル、フランス、オランダ、中国、日本の10カ国（97名）の印刷産業機械メーカーやユーザー、大学・研究機関等のエキスパート（専門委員）が参加した。日本からは延べ27名が参加して、開催国として、日本の考えを積極的に発言した。また、会議期間中の27日午後、参加者による印刷博物館の見学やホテルでの懇親会も開催され、各国のエキスパートが親交を深めた。また、他のTCとのジョイントミーティングも開催された。

東京会議での各ワーキンググループ（WG）の主な討議内容は下記の通りであった。

WG1「用語統一」：文字校正記号の国際標準化に対して、中国、日本等の漢字使用国として漢字用も追加するように働き掛けを行った。

WG2「デジタルデータ交換」：日本から積極的に画像データ用の標準画像を提案し、国際標準化に貢献した。

WG3「工程制御と関連計測」：カラー印刷用のグループ、印刷物の測色方法をめぐって、日米欧が激論を続けたが、それぞれの意見を取り入れてまとまった。

WG4「印刷メディアと材料」：PS版の厚み、ウェブ、バリなどの許容をめぐって各国が対立をしていたが、今回の会議でようやく終結した。

WG5「安全及び人間工学」：安全制御システム規格（ISO13849-1）が昨年11月改訂され、確率論の考えが入り、印刷機械の安全規格（ISO12643-2）でカテゴリの審議が行われるのではないかと、考え準備したが、次回に持ち越された。その他、コルゲートマシン、スタンドアロン型プラテンプレスの規格化の審議は進展した。



## 2 グローバルプリント設立準備会議（社団法人日本印刷産業機械工業会主催）

世界主要国の印刷産業機械工業会が集まって協議会を設立。その準備会議がIGAS期間中の9月22日に開催された。協議会の名称は「GlobalPrint」。参加国は、ドイツ、イタリア、スウェーデン、スペイン、フランス、スイス、イギリス、アメリカ、中国、インド、日本の11カ国である。本会議が2008年のdrupa期間中に開催されることになった。





### 3 世界印刷技術者会議 (社団法人 日本印刷産業連合会主催)

9月27日に、社団法人日本印刷産業連合会が主催する「世界印刷技術者会議」が会議棟607/608会議室で開催された。この会議では、新興成長市場の代表を招いて、印刷関連周辺の現状や、持続可能な成長を維持するための課題を抽出、さらに印刷関連技術者同士の情報の共有化をはかり、課題解決について討議された。

開会式に引き続き、中国印刷技術協会名誉理事長・武文祥氏による基調講演「中国の印刷産業の実情と今後の展開」～アジアエマージング市場を見据えて～が行われた。午後からは、日本、中国、インドネシア、マレーシア、タイの各国代表者が、各国の印刷事情と課題をテーマとした会議、印刷事業の今後についてのパネルディスカッション「自国の状況を踏まえ、環境配慮、効率化などの視点から印刷事業の今後の展開を考える」を開催した。言語は日本語、英語及び中国語で行われ、同時通訳がなされた。



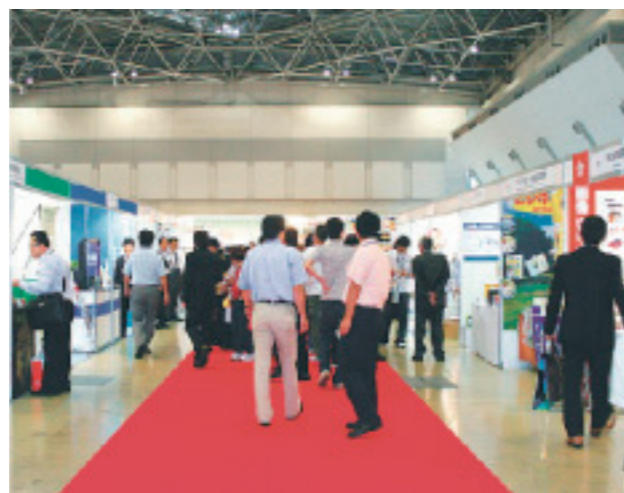
### 4 印刷コラボレーション展 (全日本印刷工業組合連合会および東京都印刷工業組合主催)

全日本印刷工業組合連合会・東京都印刷工業組合が「IGAS 2007」会場内で「印刷コラボレーション展2007」を開催した。

傘下の組合員企業に業態変革推進プランを示して、変化に対応するのではなく、自らの意思で「お客様思考に立つ」という考えに基づいた変革を進めていくこと、また、1社単独での生き残りは難しく、強みのある社外パートナーを見つけて、「共創ネットワーク」を構築する必要性を積極的に発信している。

今回、自らを積極的に情報発信して、日常の仕事のパートナーを見つけ、コラボレーションするとの主旨から、ネットワークづくりの支援を目的に開催された。

全国各地から出展した印刷関連企業が、自社の得意とする技術・ノウハウをアピール、来場者の注目を浴びた。



### 5 JDFパビリオン (CIP4国際標準化団体主催)

IGAS 2007の会場で、アジア初のJDFパビリオン(西3ホール200㎡)に国内外の32の企業が参加した。

パビリオンはCIP4/JDF関連の「ソリューション・ゾーン」「デモンストレーション・ゾーン」「プレゼンテーション・ステージ」の3つから構成され、JDFの導入事例や、JDF対応機器間相互接続テストの概要、JDF導入メリットなどがプレゼンテーションやスライドなどにより紹介された。日本で初めての本格的なJDFパビリオンであるため、CIP4/JDFに興味を持つ来場者の熱い視線を集めた。

9月21日にはCIP4主催の記者発表会が行われ、2007年のCIPPIアワード受賞者が発表された。また、IGASの期間中に、開発者、ITエンジニアを対象に「デベロッパーズ・JDF テクニカルセミナー」が開催された。



## 1. 国際化施策

国際展示会に相応しい環境作りの施策として、出展パネル/カタログ類の英語表示義務の徹底、海外新製品展示促進のための「保税展示場」指定、知的財産権保護のための「博覧会」指定などに加え、海外へのIGAS展PRとして他の国際展での出展およびパーティの開催、海外記者の日本招待ツアーを実施した。さらに、会期中に国際シンポジウムを開催し国際色を高めた。

その結果、海外直接出展者数および海外来場者数は増加し、会期中には、世界12カ国の印刷産業機械工業会の新組織「GlobalPrint」の設立準備会、米国工業会(NPES)主催の印刷市場動向に関するセミナー、中国工業会(PEIAC)の記者会見、海外国際展(drupa、Print、China Print)の説明会等が開催され、また展示会場にはCIP4/JDFパビリオンが設置されるなどグローバル化が進んだ。

## 2. 環境への配慮

環境問題への取り組みとして展示会で発生するごみ・廃棄物の処理対策は重要な課題のひとつである。IGAS 2007では、ごみの減量化とリサイクルの推進、廃棄物の適正処理、産業廃棄物の不法投棄防止につき各出展者に協力をお願いした。結果として、一般ごみは半減したものの、産業廃棄物の量は前回に比べ若干増えたが、これは出展者数の増加とブース装飾の大型化によるものと思われる。

## 3. 出展者数および小間数

前回と比べ、社数では115社、小間数では356小間の増加。海外からの直接出展社数も26社増となった。

	IGAS2007		IGAS2003	
	社数	小間数	社数	小間数
国内出展企業数	486	4,630	397	4,287
国内出社者	(410)	(3,402)	(304)	(3,095)
日本法人/輸入販社	(76)	(1,228)	(93)	(1,192)
海外直接出社者数	64	180	38	167
合計	550	4,810	435	4,454
共同出展社数	68		37	
海外出展参加国数	22		21	
直接出展参加国数	17		12	

## 4. 来場者に関する集計

### ■ 新入場システム

来場者に負担をかけずに円滑な入場ができるよう、バーコードを利用した新しい入場システムを導入した。来場者は、業種別に色分けされたバーコードラベルを選択して台紙から剥がし、入場証に貼り付ける。入場時にはこれを係員に提示し、バーコードリーダーで読みとらせるだけで入場登録が完了する。バーコードリーダーで読み取った情報はPCに集約され、入場者数などの集計はPCにて迅速に行われる。

この新システムの導入により入場時の混雑はほとんどなく、入場者数の集計作業時間も大幅に短縮された。

### ■ 総来場者数

日付	天気	総来場者数	海外からの来場者
9月21日(金)	晴れ	16,054	(2,153)
9月22日(土)	晴れ	25,907	(2,851)
9月23日(日)	曇り	18,988	(1,168)
9月24日(月)	曇り一時雨	14,374	(1,030)
9月25日(火)	晴れ	14,281	(1,635)
9月26日(水)	晴れ	21,391	(2,130)
9月27日(木)	曇り一時雨	19,169	(1,885)
累計		130,164	(12,852)

来場者数はバーコードで計数した実数で、通日重複なしで集計されたもの。

### ■ 来場者数(前回との比較)

来場者	2007年		2003年		
来場者総数	130,164		120,593		
海外来場者数	12,852	(76)	12,544	(61)	
内訳	アジア	9,573	(18)	11,337	(17)
	北米	412	(2)	137	(2)
	中南米	529	(10)	55	(6)
	欧州(NIS含む)	1,794	(28)	611	(22)
	大洋州	274	(4)	193	(13)
	中東	239	(10)	174	(7)
	アフリカ	12	(4)	27	(5)
	不明	19		10	

( )内は国数

### ■ 海外からの来場者

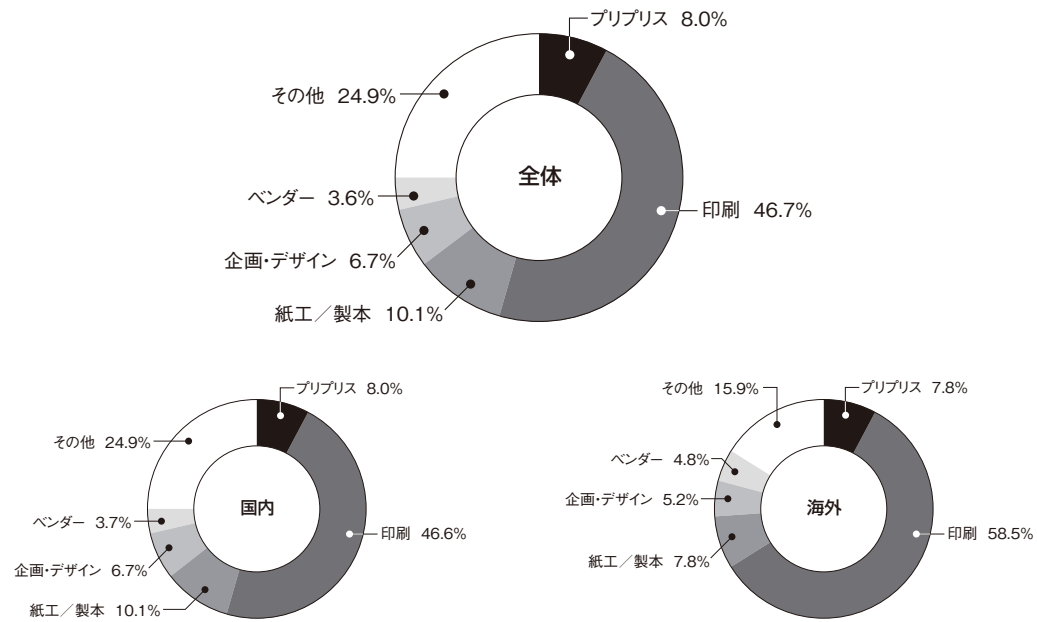
海外の来場者数は前回は若干上回る12,852人であり微増であるが、国数ではより多くの国からの来場があった(15カ国増)。地域としては中国、香港、台湾、韓国、インドなどのアジア地区からの来場者が海外来場者の75%を占めた。また、インド、NIS諸国(ロシア、ウクライナ、カザフスタンなど)、オーストラリア、メキシコなどからの団体見学が目立ち、中国(香港含む)台湾からの来場者は前回より減少したものの、アフリカを除く各地域からの来場者が大幅に増加した。(なお、国別の来場者数はIGASホームページに掲載しております。)

[http://www.igas-tokyo.jp/jap/2007\\_report\\_co.html](http://www.igas-tokyo.jp/jap/2007_report_co.html)

## 来場者アンケートによる分析

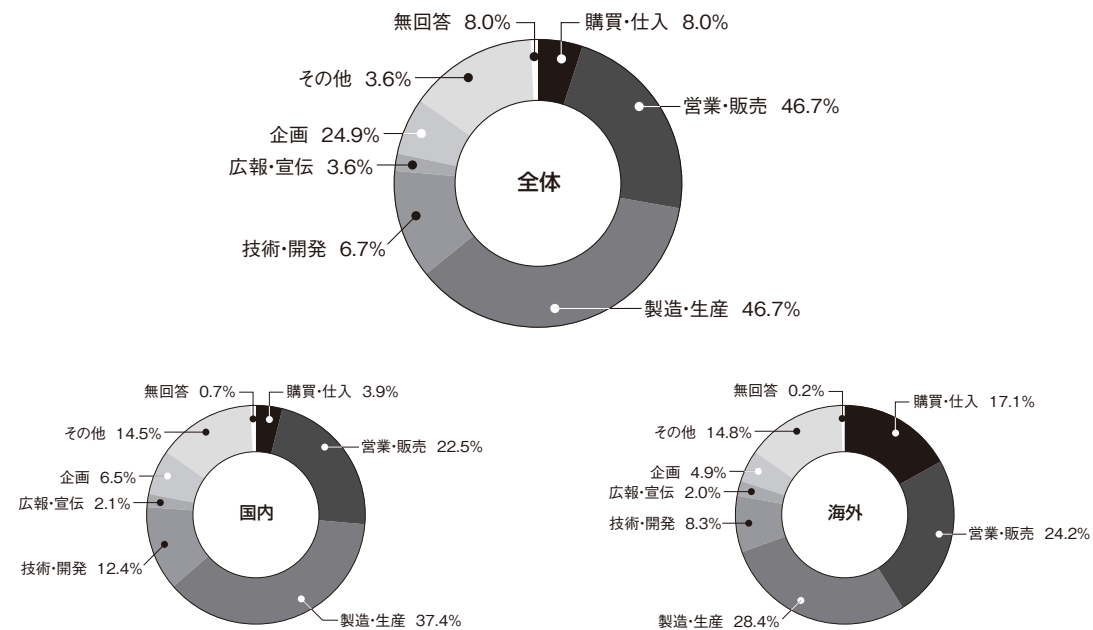
### 1) 来場者の業種

業種別に分類した来場者の割合を下図に示す。国内来場者の集計では印刷関連業種が75%を占めるのに対し、海外来場者での印刷関連業種は84%であり、特に印刷業の来場者が多いのが特徴である。



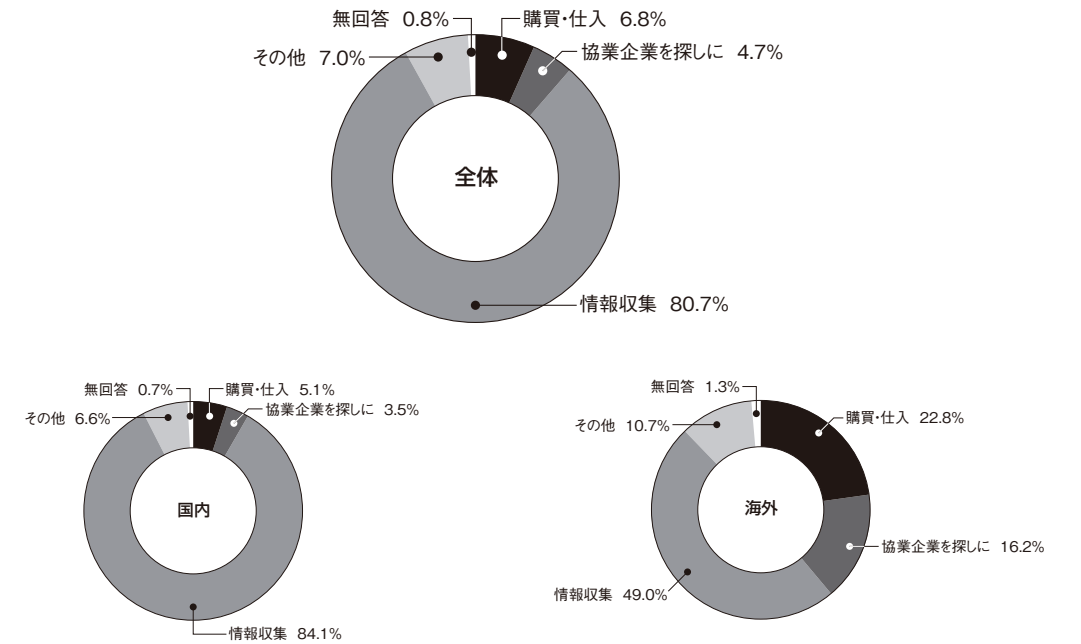
### 2) 来場者の職種

職種別に分類した来場者の分布を下図に示す。国内では「製造・生産」「営業・販売」「技術・開発」が上位3職種であるのに対し、海外からの来場者は「製造・生産」「営業・販売」「購買・仕入れ」が上位3職種である点が特徴である。



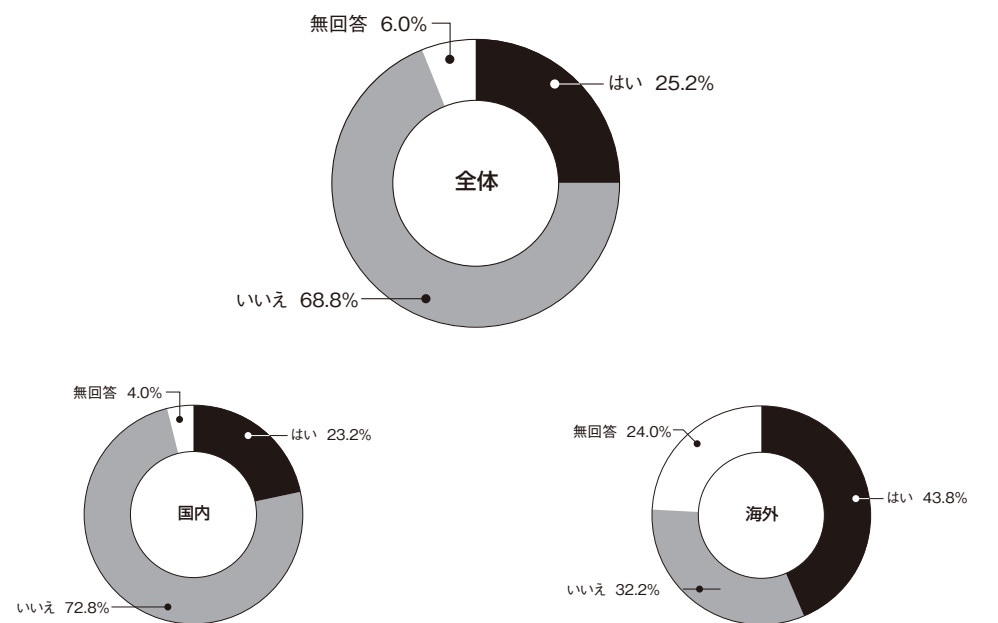
### 3) 来場の目的

来場目的別に分類した来場者の分布を下図に示す。国内海外ともに、情報収集を目的とする人が最も多いが、海外来場者は「購買・仕入」と「協業企業探し」を目的とする人が国内に比しかなり多いのが特徴である。



### 4) 購買決定権の有無

これは、購買の決定権がある人(つまり経営者・購買責任者等)がどれくらい来場したかの調査であり、集計結果を下図に示す。国内では約4分の1の人が該当するのに対し、海外からの来場者ではほぼ半数が購買の決定権を持つ人であった。



## 5. IGAS2007に見る技術トレンド

### ■ アジア市場バックに国際展の地歩確立

世界の4大機材展の一つとして位置付けられて2回目の開催となるIGAS2007だが、前回に比べさらに国際展としての位置づけを確かなものとした。これは、見込みを上回る海外来場者数(12,852人)にも表れているが、出展者側もそれに合わせるようにIGASに大変な意気込みをもって取り組んでいたことが強く感じられた。もちろん、その背景には日本市場の重要性に加え、発展著しいアジア市場があることは言うまでもない。

なかには約半年後に控えているdrupa2008に出展予定であった新技術を、急遽前倒してIGASに出展・実演した例もあったほどで、IGASの国際展としての存在感はますます高まってきた。

### ■ 成熟市場に高付加価値化と効率化の提案

その一方で、成熟化する日本の印刷需要の影響が出展動向にも表れていたことも今回の特徴だ。人口減少時代となって初めての開催ということもあり、とくに高付加価値印刷に関する提案が各社から多く行われた。この傾向は加工システムのインライン化を推進している印刷分野に限らず、プリプレスから後加工まで全ての分野において共通のものである。

そこには最終消費者の嗜好・ニーズを意識したバリエーションに富んだ加工を施すことで、単価の下落傾向に歯止めをかけるだけでなく、今までにない需要を開拓しようという意欲が感じられた。

UV印刷、ニスコーティングはもちろん、箔押し、ホログラム、抜き加工まで、インライン化により新たな付加価値・可能性もたらされようとしている。また、これら高付加価値化のトレンドはインラインシステムに限らず、同様の加工をオフラインで機能的に行うシステムが多く出展・発表されていたことでも窺えた。加工システムに限らず、広演色印刷・高精細印刷など様々な技術によっても高付加価値化は達成されつつある。

### ■ Adobe Print Engine搭載のフローが一斉に登場

#### CTPはプロセスレス化と高速化へ

ワークフローの大きな流れとして、RIPに従来のCPSIから次代のコア技術となることが予想されるAdobe PDF Print Engine を搭載したワークフローが一斉に登場してきた。この持つ意味は「デバイスに依存しないワークフロー」が実現の運びになるということである。

PDF/X-4(PDF1.6バージョン)やAdobe CS3がリリースされたことも相まって、レイヤーや透明効果を使用したPDF/X-4の書き出し時間とそのRIP処理時間も大幅に短縮されている。また、PDFデータにダイレクトに編集・加工を加えられるシステムが登場し、CTP出力直前の直しという課題もクリアされるようになってきた。

そして、オフセット印刷とデジタル印刷の統合を目指すハイブリッド型ワークフローやデジタルカメラの普及に伴うRGB型ワークフローの提案が行われていたが、今後いかに現場に定着していくかが注目の的である。

JDF対応は当たり前のようにになっているが、実際の対応はこれからである。とくにMIS対応ではJDFパビリオンでの海外勢のソフト提案が目をつけていた。CTPに関してはプロセスレス、ケミカルレスに関する出展が目立ったほか、菊全判で毎時50版というレベルの高速化がさらに進展してきた。

### ■ 枚葉は大判化、高付加価値化と小ロット対応

#### 小型機は新方式、管理装置でオンデマンド化

市場の成熟化はオフ輪、枚葉(大型、中小型)、デジタル印刷それぞれが持つ領域にも影響を見せ始めている。オフ輪については、新たな色調維持機能など各種品質管理機能の充実、JOB切り替え作業の自動化・効率化によりますますショートラン対応力を強めている。その一方、枚葉機においてはオフ輪と対抗すべく四六全判から倍判へと大判化と高付加価値化へ拍車がかかる一方で、ダイレクト駆動、全色同時刷版交換装置などにより、ますます小ロット需要への対応力を強めた。しかし、デジタル印刷機と大型機に挟まれ一見、苦しい立場に置かれたかにみえる小型機も、CTPの高速化と損紙削減のキーレスシステムの採用やAI化された管理装置により、デジタル印刷市場に対抗する活路として新たな需要を開拓できる気運が出てきている。

### ■ デジタル印刷はオフセットとハイブリッド展開へ

#### 産業用UVインクジェットはロール／フラット兼用

デジタル印刷機は、産業用インクジェットシステムの台頭も含め、バリエーションの豊富さがさらにその可能性を広げてきた。電子写真方式では新たなCMSを加えオフセット印刷並みの品質レベルに近づきつつある一方で、オフセット／デジタルいずれにも対応するハイブリッドワークフローの提案により、同じコンテンツの印刷物でもロットの多い初版ではオフセット、小ロットの追加印刷ではデジタルなど、状況に応じ機敏に印刷機を選択することが可能になってきた。インクジェット方式では、カラーDMをターゲットにしたシステムや産業用でUVインクジェット機がロール・トゥ・ロールとフラットベッドとの兼用を可能にし新たな需要開拓のチャンスをもたらしている。

### ■ 製本・加工は環境、デジタル印刷に対応

#### 印刷に応じた柔軟な活用に目配りも

より効率化・小ロット化への対応を強力に推進している製本・後加工の分野においても、印刷物の高付加価値化が大きなテーマとなっているが、デジタル印刷機対応のシステムや無線綴じではPUR/ EVA製本など環境対応をアピールする提案も今回は目立った。この他に乱丁防止にCCDカメラ式が目立っていた。

こうした製本・加工の変化は印刷産業の成熟化の一つの側面を示すものであり、大型機・小型機、デジタル印刷機それぞれが持つ機能を状況に応じ、最大限活かした形で採用されていくことになる。

### ■ フレキシソ用にCTP化とダイレクト彫刻が進展

#### グラビアでは水性印刷と溶剤回収の選択肢

フレキシソ用プリプレスでは、水現像デジタル版の揃い踏みや狭幅用に凸版と兼用のCTPが進展、ブラックレイヤー描画のCTPに非画像部をサーマル剥離する新現像システム、ゴム版・樹脂版にダイレクトレーザー彫刻するシステムが登場してきた。フレキシソ印刷では、UV/ 水性印刷システムが進展してきた。UVでは窒素置換方式を採用したインライン型フレキシソ輪転や水性印刷インキが軟包装用にも実用化してきていた。グラビアでは、新たな面付けワークステーションの登場や環境対応で水性印刷インキの他に溶剤回収方式の選択肢も提案されてきた。

その他では、半導体用途でガラス、フィルム、基板などにペースト等を印刷する多目的微細印刷装置も紹介されていた。

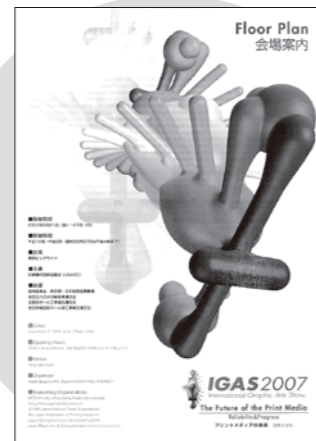
## 6. 主な宣伝広報活動

### ■ 広報宣伝印刷物

- ・ IGAS2007ポスター (B全) 2004年4月作成、drupa2004より使用開始
- ・ IGASレポート 累計6回を発行

号	発行時期	主な内容
No.1	2004年5月	開催案内(海外向け)
No.2	2006年3月	開催及び出展申込み受け案内(海外向け)
No.3	2007年2月	キャッチフレーズ発表、出展者情報
No.4	2007年6月	日本の印刷技術トレンド、会場全体図
No.5	2007年7月	アジア各国の印刷事情
No.6	2007年8月	IGAS最新情報(イベント、出展者情報等)詳細

- ・ 入場招待券 2007年7月配布
- ・ 公式カタログ(会場にて有料配布)  
ホームページには出展各社の会社情報および出展製品情報を掲載したが、これを冊子に編集して小間割図とともに公式カタログとして有料配布した。
- ・ 会場案内(会場にて無料配布)  
全出展者を図示した小間割図およびイベント案内。
- ・ IGAS LIVE(デイリーニュース、会場にて無料配布)  
展示会期間中の9月21日から26日までの6日間、展示会の見どころやイベントなどのニュースを速報するもので、日本語版と英語版を発行した。



### ■ IGAS2007ホームページ <http://www.igas2007.jp>

時期	掲載内容
2004年8月	IGAS2007ホームページ開設
2006年1月	出展募集開始
2007年3月	出展が確定した会社の企業情報を掲載開始
2007年1月	出展者向け事務局ニュース配信開始
2007年7月	入場券予約オンライン受付開始
2007年7月	セミナー受講オンライン受付開始

### ■ 新聞・雑誌広告

国内外の業界団体機関誌、業界専門紙・誌、および日刊紙などに広告を掲載(2007年7~9月)

### ■ 海外記者招待ツアー

各国メディアにてIGAS展の紹介・PRをしてもらうことを目的に、海外の業界紙記者を日本へ招待し、IGAS2007内容の紹介、日本の最新技術動向の説明、印刷工場2社の見学会を実施した。

実施日時：2007年5月14~15日

参加メディア：8カ国11人

PEIAC(中国)、Keyin(中国)、Graphic Arts Association(香港)、Graphic World Monthly(韓国)、The Printing Times(韓国)、Printer's Magazine(台湾)、Philippine Printer(フィリピン)、Print Pack Publish Asia(シンガポール)、Maharah Graphika Indonesia(インドネシア)、Indian Printer & Publisher(インド)、Australian Printer(オーストラリア)

### ■ 国際展示会での出展・来場誘致活動

展示会名	開催期間	開催地
drupa 2004	2004年5月6~19日	ドイツ デュッセルドルフ
PRINT 05	2005年9月9~15日	アメリカ シカゴ
Ipex 2006	2006年4月4~11日	イギリス バーミンガム
PRINT CHINA 2007	2007年5月6~19日	中国 広東省 東莞

### ■ 印刷業界ユーザー団体への案内

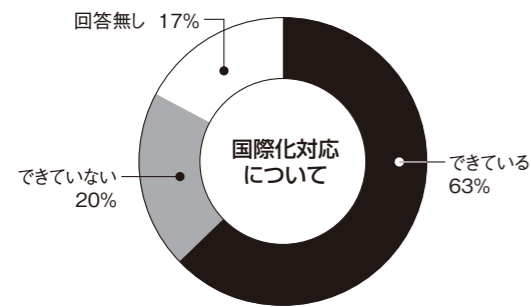
社団法人 日本印刷産業連合会、全日本印刷工業組合連合会、東京都印刷工業組合、東京都製本工業組合、日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会、社団法人 日本グラフィックサービス工業会

## 7. 出展者アンケートの集計

今回、設営・運営上の重点施策とした新入場管理システム、西館・東館の入場格差対策、搬入搬出作業の円滑化については、各出展者から概して改善の効果が見られ良好であったとの評価をいただいた。最終日に実施した各出展者からのアンケート(回答率73.4%)の集計結果を下記に記載するが、さらに改善を要する事項のご指摘もあり今後さらなる努力をしていきたい。

### 国際化対応について

「できている」が「できていない」の3.2倍となっており、前回の2.3倍と比べてアップした。国際展示会としての位置づけが着実に定着してきている。



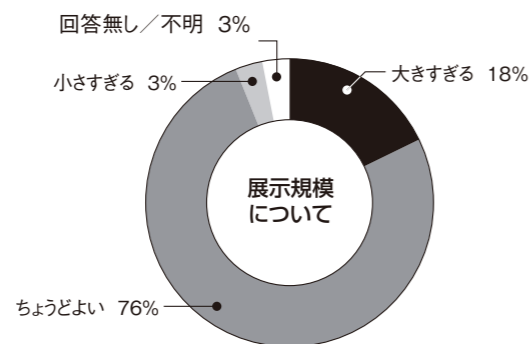
#### ●「対応できている」と答えた方のご意見

- ・国際化対応は多言語表示など比較的できていると思う
- ・海外来場者は多かったと思う、特にアジア
- ・各国から大勢の来場者があった
- ・出展できて海外進出への道が開かれた
- ・レストランのウエイトレスも英語で対応しておりよかった

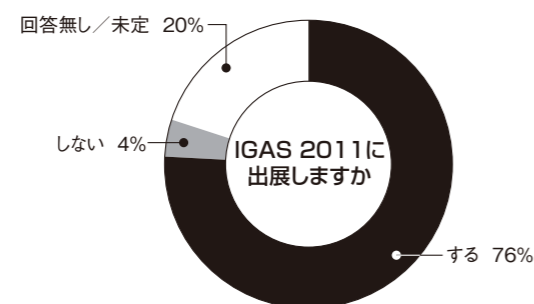
#### ●「対応できていない」と答えた方のご意見

- ・カタログ、パネル、ブース等英語表記が少なかった
- ・出展者の英語対応が不十分ではないか
- ・場内アナウンス、案内板等に中国語・韓国語を使用したほうが良い
- ・アジア諸国が多くその他は余り無かった
- ・欧米からの出展者・来場者が少ない
- ・英語が話せるスタッフ・警備員が少ない
- ・欧米に対して事前PR等もっと必要、広報宣伝が不十分

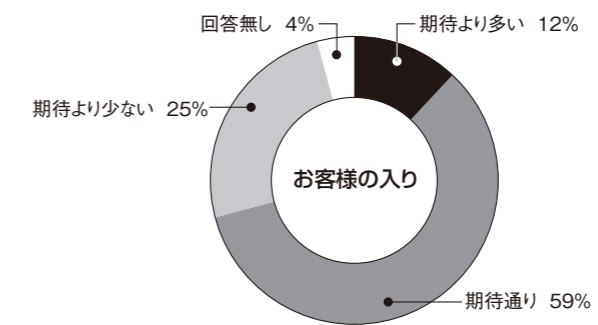
### 展示規模について



### IGAS 2011に出展しますか



### お客様の入り



### その他多かっただご意見、ご提案

#### ●「運営について」

- ・出展者説明会から日程、資料等、対応が遅い
- ・説明会での説明が不明瞭。てびきの変更点の連絡も無い
- ・出展者駐車証が少ない、有料駐車料金が安い
- ・小間料金が安い(小間料金を下げる努力をして欲しい)
- ・製品カテゴリーごとに場所をまとめてほしい
- ・印刷業種別・出展機種別に展示会場を分けた小間割にしてほしい
- ・テレビメディア等、PRを強化してほしい
- ・海外の印刷業界に対する情報提供がより必要

#### ●「会期日程について」

- ・会期が長い(5日間がよい)
- ・土日祝を含めたほうがよい
- ・9月末の開催は上期末の決算と重なって良くない

#### ●「入場システム・導線・入場者証」

- ・東館の入場チェックがあまく入場証がなくても入場できた
- ・西館4Fへの誘導をもっとして欲しい
- ・人の流れが均一になるように導線を工夫して欲しい
- ・入場証に社名・氏名がない。名刺を入れてほしい
- ・海外来場者(特にアジア)が一目で分かるようにしてほしい
- ・入場ホルダーが裏返りやすく、業種の判別がしづらい
- ・バーコードを利用して顧客管理をしてほしい
- ・入場証の業種を細分化してほしい

#### ●「会場について」

- ・会場内の空調がきいていない、冷房をきかしてほしい
- ・隣接小間スピーカーがうるさく説明が出来ない時があった
- ・写真やビデオの撮影規制をきびしくしてほしい
- ・東西ホールが遠すぎる、巡回バスの運行案内はもっとやったほうがよい

Table with 2 columns: Company Name, Booth Number. Includes ISO/TC 130国内委員会, アイグラフックス(株), アイジーティー・テストング・システムズ・ピーヴィー, etc.

Table with 2 columns: Company Name, Booth Number. Includes (株)大西機械, (株)尾拾製作所, (株)尾拾テクニカルサービス, etc.

Table with 2 columns: Company Name, Booth Number. Includes (有)三光, (株)三條機械製作所, サンドビック(株), etc.

Table with 2 columns: Company Name, Booth Number. Includes Tianjin Changrong Print and Packing Equipment Co., Ltd., Chengdu Xingraphics Co., Ltd., 千葉大学, etc.

Table with 2 columns: Company Name, Booth Number. Includes 日本アグフアゲバルト(株), 社団法人日本印刷学会 標準化委員会, 社団法人日本印刷産業機械工業会, etc.

Table with 2 columns: Company Name, Booth Number. Includes BOGRAMA AG, ポッシュレックスロス(株), (株)ホリゾン東テクノ/ホリゾン西コンサル, etc.

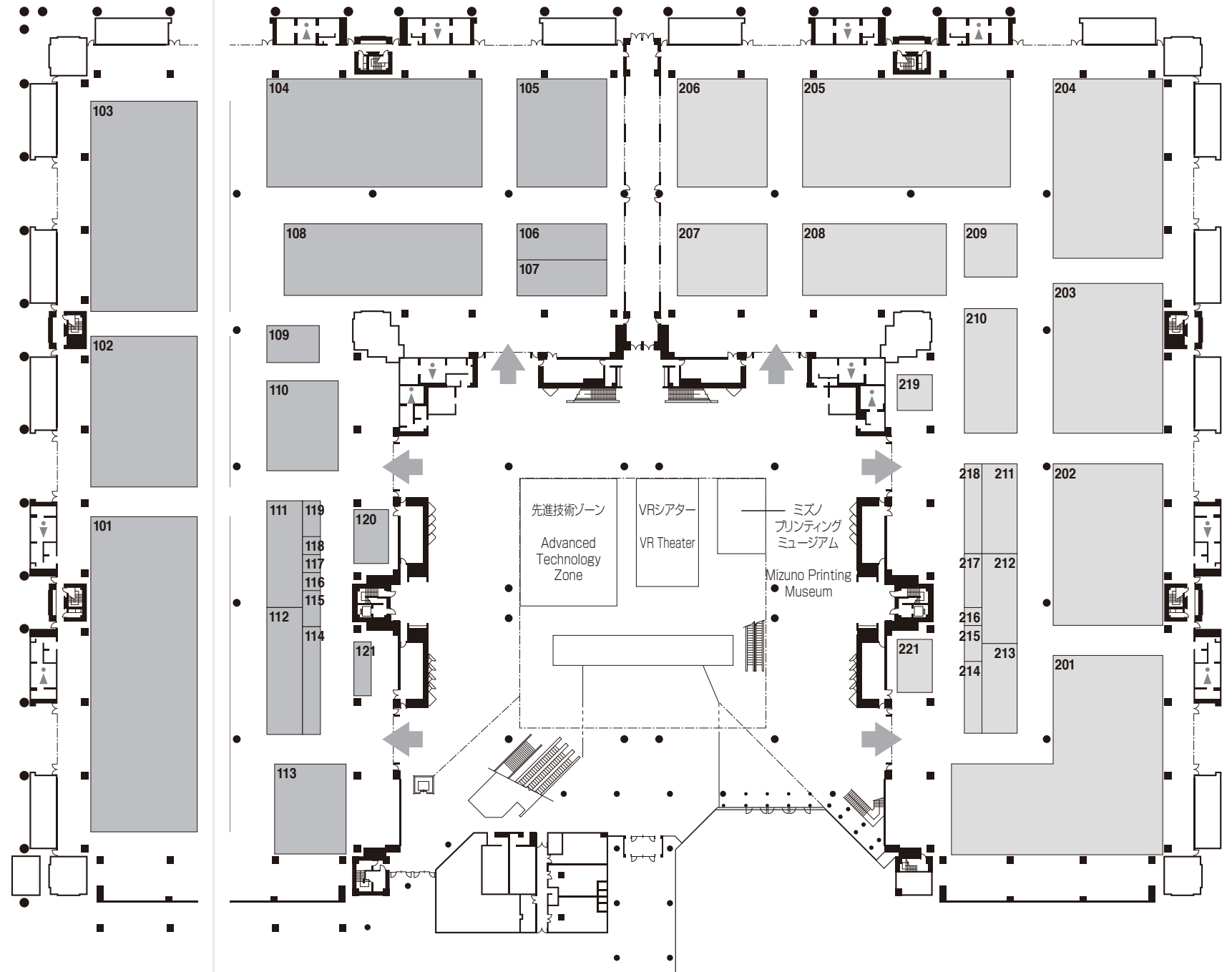
Table with 2 columns: Company Name, Booth Number. Includes (株)堀鉄工所, 香港印芸学会, ボンテケミカル(株), etc.

**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

小間番号	出展者	出展者
Stand No.	Exhibitor	Exhibitor
<b>西1ホール West Hall 1</b>		
W101	大日本スクリーン製造(株)	DAINIPPON SCREEN MFG. CO., LTD.
W102	(株)モリスワ	Morisawa & Company, Ltd.
W103	コニカミノルタグラフィックイメージング(株)	KONICAMINOLTA GRAPHIC IMAGING JAPAN CO.,LTD.
W103	コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)	KONICAMINOLTA BUSINESS SOLUTIONS JAPAN CO.,LTD
W104	コダック(株) DPS事業部	KODAK JAPAN LTD.
W104	コダックIPS(株)	KODAK IPS JAPAN, INC.
W104	コダック グラフィックコミュニケーションズ(株)	Kodak Graphic Communications Japan Ltd.
W105	大日精化工業(株)	Dainichiseika Color & Chemicals Mfg. Co., Ltd.
W105	エスケー液製造(株)	SK LIQUID PRODUCTION COMPANY
W105	Alpha-Cure Ltd.	Alpha-Cure Ltd.
W105	愛思克印刷技術(大連)有限公司	SK Pressroom Solutions (Dailian) Co.,Ltd
W106	(株)源祐	GEN-YU MACHINERY LTD.
W107	ザ・インクテック(株)	The Inctec Inc
W108	サカタインクス(株)	Sakata Inx Corporation
W108	パンチグラフィックス(株)	PUNCH GRAPHIX JAPAN CO.,LTD
W109	(株)恩田製作所	ONDA MFG. CO., LTD.
W110	(株)志機	SHIKI CORPORATION
W111	(株)三條機械製作所	SANJO MACHINE WORKS.LTD
W112	岩崎鉄工(株)	Iwasaki Tekko co.,ltd.
W113	リンテック(株)	LINTEC Corporation
W114	理想科学工業(株)	RISO KAGAKU CORPORATION
W115	サンドビック(株)	Sandvik K.K.
W115	サンドビック	Sandvik Materials Techonology
W116	WUHAN YINENG TECHNOLOGY CO.,LTD	WUHAN YINENG TECHNOLOGY CO.,LTD
W117	山口産業(株)	YAMAGUCHI SANGYO CO.,LTD
W118	M.CREATE INTERNATIONAL CO.,LTD	M.CREATE INTERNATIONAL CO.,LTD
W118	Yii Lee Enterprise Co., Ltd.	Yii Lee Enterprise Co., Ltd.
W119	(株)ゴスグラフィックシステムズ ジャパン	GOSS GRAPHIC SYSTEMS JAPAN CORPORATION.
W120	(株)インワフーパースィフト	ISOWA HOOPER SWIFT.LTD.
W121	三星インキ(株)	MITSUBOSHI PRINTING INK CO., LTD.

小間番号	出展者	出展者
Stand No.	Exhibitor	Exhibitor
<b>西2ホール West Hall 2</b>		
W201	富士フィルム グラフィックシステムズ(株)	FujiFilm Graphic Systems Co.,Ltd.
W201	富士フィルム シンプルプロダクツ(株)	FUJIFILM SIMPLE PRODUCTS CO.,LTD
W202	日本アグファ・グバート(株)	Agfa-Graphics N.V.
W203	大日本インキ化学工業(株)	Dainippon Ink and Chemicals, Incorporated
W204	日本ヒューレット・パカード(株)	Hewlett-Packard Japan, Ltd.
W205	東洋インキ製造(株)	TOYO INK MFG. CO., LTD.
W206	三菱製紙(株)	mitsubishi paper mills limited
W207	(株)デュプロ	DUPLO CORPORATION
W208	昭和情報機器(株)	Showa Information Systems Co., Ltd.

小間番号	出展者	出展者
Stand No.	Exhibitor	Exhibitor
W209	コニカミノルタIJ(株)	KONICA MINOLTA IJ TECHNOLOGIEES,INC.
W210	東京インキ(株)	Tokyo Printing Ink Mfg. Co., Ltd.
W210	(株)明治ゴム化成	Meiji Rubber & Chemical Co., Ltd.
W210	ハイニックス(株)	HINIX co.,ltd
W211	(株)塚谷刃物製作所	tsukatani hamono mfg.co.,ltd.
W212	グローリー(株)	GLORY LTD.



**W-1 西1ホール** West Hall 1

**W-2 西2ホール** West Hall 2

小間番号	出展者	出展者
Stand No.	Exhibitor	Exhibitor
W213	三起機械(株)	SANKI MACHINERY CO. LTD.
W214	ヒロ(株)	HIRO CORPORATION
W214	萬語機械企業有限公司	Wan An -ORTHOTEC Precise Machinery Co. Ltd.
W215	RAINBOW SUN INTERNATIONAL CO.,LTD	RAINBOW SUN INTERNATIONAL CO.,LTD
W216	FLEXO TECHNOLOGY INC	FLEXO TECHNOLOGY INC.

小間番号	出展者	出展者
Stand No.	Exhibitor	Exhibitor
W217	(株)タカノ機械製作所	TAKANO MACHINERY WORKS. CO.,LTD.
W218	(株)セイコーアイ・インフォテック	Seiko I Infotec Inc.
W219	(有)三和技研	SANWA ENGINEERING LTD.
W221	美濃商事(株)	MINO SHOJI CO.,LTD



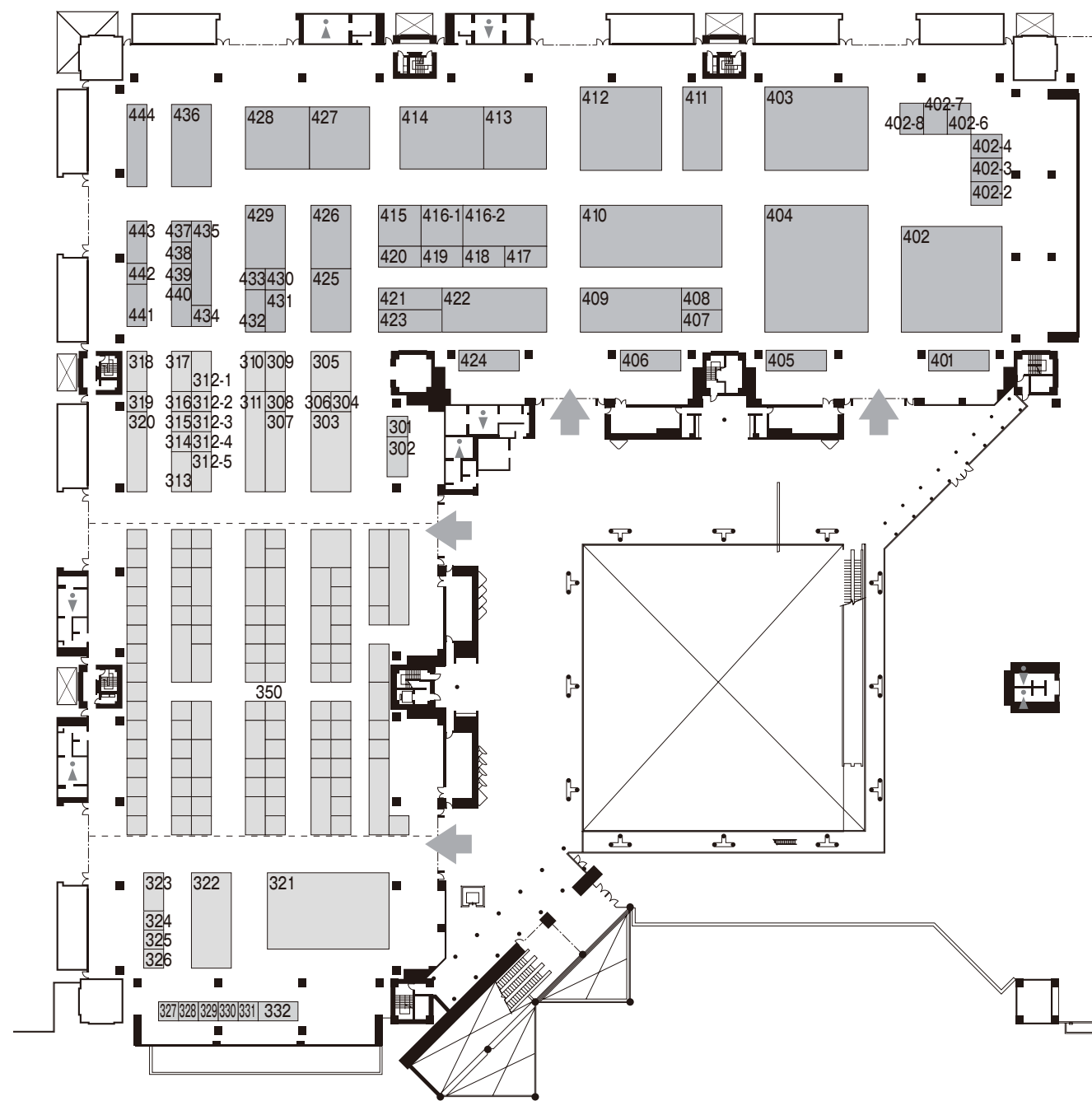
**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

小間番号	出展者	出展者
Stand No.	Exhibitor	Exhibitor
<b>西3ホール</b>	West Hall 3	
W301	(株)扶桑プレジジョン	FUSO PRECISION Co.,Ltd.
W302	谷口インキ製造(株)	TANIGUCHI INK MFG., CO., LTD.
W303	(株)モトヤ	MOTOYA Company Limited
W304	(株)ジェイエンタープライズ	Jay Enterprises, Limited
W305	大通機械販売(株)	DAITSU MACHINERY CO.,LTD.
W306	ヤマトマシナリー	YAMATO MACHINERY
W307	アイセル(株)	ISEL.CO.,LTD.JAPAN
W308	日本平版機材(株)	NIPPON LITHOGRAPH, INC. TOKYO
W309	富博産業(株)	TOMIHIROSANGYO CO., LTD.
W310	(株)ジャストコーポレーション	JUST CORPORATION CO., Ltd
W311	(株)Too	Too CORPORATION
W311	(株)ソフトウェアトゥー	SOFTWARE Too CORPORATION
W312-1	A-T コミュニケーションズ(株)	A-T Communications Co., Ltd.
W312-2	東海ビジョン(株)	TOKAI VISION INC.
W312-3	(株)トーツヤ・エコー	TOTSUYA ECHO CO., LTD.
W312-4	(株)クロスリンクパシフィック	Cross-Link Pacific, Inc.
W312-5	(株)インテリジェントワークス	IntelligentWorks Co.,Ltd.
W313	(有)オーテック	OTEC. CO.,LTD
W314	クルツジャパン(株)	KURZ JAPAN LTD.
W315	(株)第一印刷 荷札事業部	Daiichi Printing Co., Ltd. Tag Manufacturing Department
W316	GMCソフトウェアテクノロ	GMC Software Technology Japan Office
	ジー日本事務所	
W317	(株)紅羊社製作所	KOYOSHA MFG. CO., LTD
W318	(株)鈴工	SUZUKO LTD.
W319	エスディーエルジャパン(株)	SDL JAPAN K.K.
W320	(株)シオザワ	SHIOZAWA CO.,LTD
W321	CIP4 Japan	CIP4 Organization
W322	社団法人日本印刷産業連合会	The Japan Federation of Printing Industries
W323	gAMPACコンソーシアム	gAMPAC Consortium
W324	ISO/TC 130 国内委員会	Japan National Committee for ISO/TC130
W325	印刷OEM研究会	Society for the Study of Printing OEM
W326	学校法人日本プリンティン	Japan Printing Academy
	グアアカデミー	
W350	東京都印刷工業組合	TOKYO PRINTING INDUSTRY ASSOCIATION
	(IGAS2007印刷コラボ	
	レーション展)	

小間番号	出展者	出展者
Stand No.	Exhibitor	Exhibitor
<b>西4ホール</b>	West Hall 4	
W401	(株)帆風	VANFU CO.,LTD
W402	東北リコー(株)	TOHOKU RICOH Co.,Ltd.
W402	(株)リコー	Ricoh Company, Ltd.
W402-2	全米印刷機材業者連合会	NPES
W402-3	イタリア紙工印刷機械工業会	ACIMGA
W402-4	社団法人日本印刷産業機	JAPAN PRINTING MACHINERY ASSOCIA-
	械工業会	TION
W402-6	大韓印刷情報技術協会	KOREAN PRINTING INFORMATION TECHNOL-
		OGY ASSOCIATION
W402-7	香港印芸学会	Graphic Arts Association of Hong Kong
W402-8	中国印刷及設備器材工業協会	Printing and Printing Equipment Industries
		Association of China (PEIAC)
W403	エプソン販売(株)	EPSON SALES JAPAN CORPORATION

**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

小間番号	出展者	出展者
Stand No.	Exhibitor	Exhibitor
W404	キヤノンマーケティングジャ	Canon Marketinngu Japan Inc.,
	パン(株)	
W404	キヤノンシステムソリュー	CANON SYSTEM SOLUTIONS INC.
	ションズ(株)	
W405	フジブラ(株)	FUJIPLA Inc.
W406	(株)キングコーポレーション	KING CORPORATION LIMITED
W407	ハート(株)	Heart Co.,ltd
W408	大阪印刷インキ製造(株)	OSAKA PRINTING INK MFG. CO.,LTD
W409	日本エーエム(株)	AM Japan Co.,Ltd.
W410	インフォプリント・ソリュー	InfoPrint Solutions Japan K.K.
	ションズ・ジャパン(株)	
W411	(株)ミマキエンジニアリング	Mimaki Engineering Co., Ltd.
W412	旭化成ケミカルズ(株)	ASAHI KASEI CHEMICALS CORPORATION
W413	(株)ルキオ	LUKIO CO.,LTD
W414	(株)ビジュアル・プロセッ	Visual Processing Japan, Inc.
	シング・ジャパン	
W415	グラパックジャパン(株)	Grapac Japan Co., Inc.
W415	ハリスアンドブルーノイン	Harris & Bruno International
	ターナショナル日本支店	
W416-1	(株)ケイアイビー	KIP CORPORATION
W416-2	サンワーカー(株)	SUNWOKER CO.,LTD
W417	伊原電子工業(株)	Ihara Electronic Industries Co., Ltd.
W418	ストークプリントジャパン(株)	Stork Prints Japan K.K.
W419	SRI ハイブリッド(株)	SRI Hybrid Limited
W420	日本オフィスラミネーター(株)	JAPAN OFFICE LAMINATER CO.,LTD
W421	(株)ムサン	MUSASHI CO.,LTD
W421	ダイニック(株)	DYNIC CORPORATION
W422	(株)T & K TOKA	T&K TOKA CO.,LTD
W423	ソルテック工業(株)	SOLUTECH CO.,LTD
W424	(株)山櫻	YAMAZAKURA CO., LTD.
W425	(有)ジョイナップコーポレー	JOINUP CORPORATION
	ション	
W426	(株)ジェビック	ANRI Machinery Co. Ltd.
W427	方正(株)	Founder International Inc.
W428	X-Rite Inc.	X-Rite Inc.
W429	十条ケミカル(株)	JUJO CHEMICAL CO.,LTD.
W430	明海エンタープライズ(有)	MEIKAI ENTERPRISE CO.,LTD
W431	(株)インターテック	INTERTECK CO., LTD.
W432	(株)ヨシダ機材	YOSHIDAKIZAI CO., LTD.
W432	アクロスマシナリ(株)	ACROSS MACHINERY CO.,LTD
W433	(株)エルケー	L K COMPANY, LTD.
W434	(株)マイクロボード・テクノ	MICROBOARDS TECHNOLOGY INC.
	ロジー	
W435	ミノインターナショナル(株)	MINO INTERNATIONAL LTD.
W436	(株)レザック	LASERCK CORPORATION
W437	(株)ジーイー企画センター	GE KIKAKU CENTER INC.
W438	セイコー印刷(株)	SEIKO PRINTING CO., LTD.
W439	(有)ピクア	PIQUA Co.,ltd
W440	Aurora Solution Co., Ltd.	Aurora Solution Co., Ltd.
W441	カタニ産業(株)	KATANISANGYO CO.,LTD.
W442	(株)ハガタ屋	HAGATAYA CO.,LTD
W443	(株)オゼットクリエイティブ	OZ CREATIVE CO.,LTD
W444	(株)コスモグラフ	COSMOGRAPH INC.



**W-3 西3ホール** West Hall 3

**W-4 西4ホール** West Hall 4

分野 / Field	小間番号 / Booth No.	出展大学・団体 / Institution	詳細 / Details
情報画像色 Information, Image and color	W501	筑波大学 University of Tsukuba	先端学際領域研究センター 智慧情報研究室 The Center for Tsukuba Advanced Research Alliance, Wisdom System Lab.
	W502	電気通信大学 The University of Electro-Communications	大学院電気通信学研究科 電子工学専攻 金子研究室 Graduate School of Electro-Communications, Department of Electronic Engineering, Kaneko Laboratory
	W503	千葉大学 Chiba University	大学院融合科学研究科(工学部情報画像工学科) 像感性工学分野 Graduate School of Advanced Integrated Science, Faculty of Engineering, Department of Information & Image Sciences
	W504	千葉大学 Chiba University	大学院融合科学研究科 物理情報工学領域 三宅研究室、津村研究室、中口研究室 Graduate School of Advanced Integrated Science, Miyake Lab., Tsumura Lab., Nakaguchi Lab.
	W505	早稲田大学 Waseda University	大学院国際情報通信研究科 河合隆史研究室 Takashi Kawai Laboratory, Graduate School of Global Information and Telecommunication Institute
	W506	長岡技術科学大学 Nagaoka University of Technology	環境・建設系 環境リモートセンシング研究室 Department of Civil and Environmental Engineering, Environmental Remotesensing Laboratory
	W507	日本印刷学会 The Japanese Society of Printing Science and Technology	標準化委員会 Standardization Committee
	W508	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology	大学院総合理工学研究科 人間環境システム専攻 中村芳樹研究室 Nakamura Yoshiaki Laboratory, Department of Built Environment, Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering
	W509	東京電機大学 Tokyo Denki University	理工学部 情報システムデザイン学系 エルゴノミクスデザイン研究室 School of Science and Technology, Division of Information System Design, Ergonomic Design Laboratory
電子ディスプレイ Electronic display	W510	東海大学 Tokai University	光・画像工学科 面谷研究室 Omodani Laboratory, Department of Optical and Imaging Science & Technology
	W511	東京工芸大学 Tokyo Polytechnic University	大学院ハイパーメディア研究センター 色彩画像研究室 Color Image Laboratory, Center for Hyper Media Research 大学院ハイパーメディア研究センター ディスプレイデバイス研究室 Display Device Laboratory, Center for Hyper Media Research 大学院ハイパーメディア研究センター 電子画像研究室 Laboratory of Electric Imaging, Center for Hyper Media Research
	W512	千葉大学 Chiba University	大学院工学研究科 人工システム科学専攻 電気電子系コース 伊藤智義研究室 Graduate School of Engineering, Division of Artificial System Science, Department of Electrical & Electronic Engineering, Ito Tomoyoshi Laboratory
	W513	千葉大学 Chiba University	大学院融合科学研究科 情報科学専攻 北村・宮川研究室 Kitamura and Miyagawa Laboratories, Information & Image Science Div., Graduate School of Advanced Integration Science
本質・素材 Materials and fine patterning	W514	名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology	大学院工学研究科 機能工学専攻・薄膜研究室 Graduate School of Engineering, Department of Engineering Physics, Electronics and Mechanics, Thin Film Lab.
	W515	慶應義塾大学 Keio University	理工学部 物理情報工学科 松本研究室 Faculty of Science and Technology, Matsumoto lab.
	W516	千葉大学 Chiba University	大学院融合科学研究科 情報科学専攻 画像マテリアルコース 小関研究室 Koseki Laboratory, Image and Materials Science Course, Division of Information Sciences, Graduate School of Advanced Integration Science
	W517	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology	大学院理工学研究科 附属画像情報工学研究施設 半那研究室 Imaging Science and Engineering Laboratory, Graduate School of Science and Engineering, Hanna Lab.
	W518	東京大学 The University of Tokyo	大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 製紙科学研究室(協力: 白石中央研究所) Paper Science Laboratory, Department of Biomaterial Sciences, Graduate School of Agricultural and Life Sciences (Cooperated by Shiraishi Central Laboratories)
	W519	東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology	大学院共生科学技術研究院 環境資源共生科学部門 岡山研究室、服部研究室 Institute of Symbiotic Science and Technology, Okayama Lab. and Hattori Lab.
機械システム Machinery and systems	W520	長岡技術科学大学 Nagaoka University of Technology	システム安全系 システム安全研究室 Department of System Safety, System Safety Engineering Laboratory
	W521	東海大学 Tokai University	工学部 機械工学科 橋本研究室 School of Engineering, Department of Mechanical Engineering, Hashimoto Lab.
	W522	東海大学 Tokai University	理学部 化学科 環境化学研究室 Department of Chemistry, School of Science
環境 Environment	W523	産業技術総合研究所 National Institute of Advanced Industrial Science and Technology	環境管理技術研究部門 Research Institute for Environmental Management Technology
	W524	横浜国立大学 Yokohama National University	大学院環境情報研究院 環境安全管理学研究室(亀屋研究室) Lab. of Environmental Safety Management, Graduate School of Environment and Information Sciences 安心・安全の科学研究教育センター 環境安全科学研究室(小林研究室) Lab. of Environmental Safety Science, Center for Risk Management and Safety Sciences

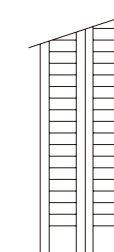
## アトリウム / Atrium

先進技術ゾーン  
Advanced Technology Zone

W506	W507	W518	W519
W505		W517	W520
W504	W508	W516	W521
W503	W509	W515	W522
W502	W510	W514	W523
W501	W511	W513	W524
		W512	

VRシアター  
VR Theater

ミズノ プリンティング  
ミュージアム  
Mizuno Printing  
Museum

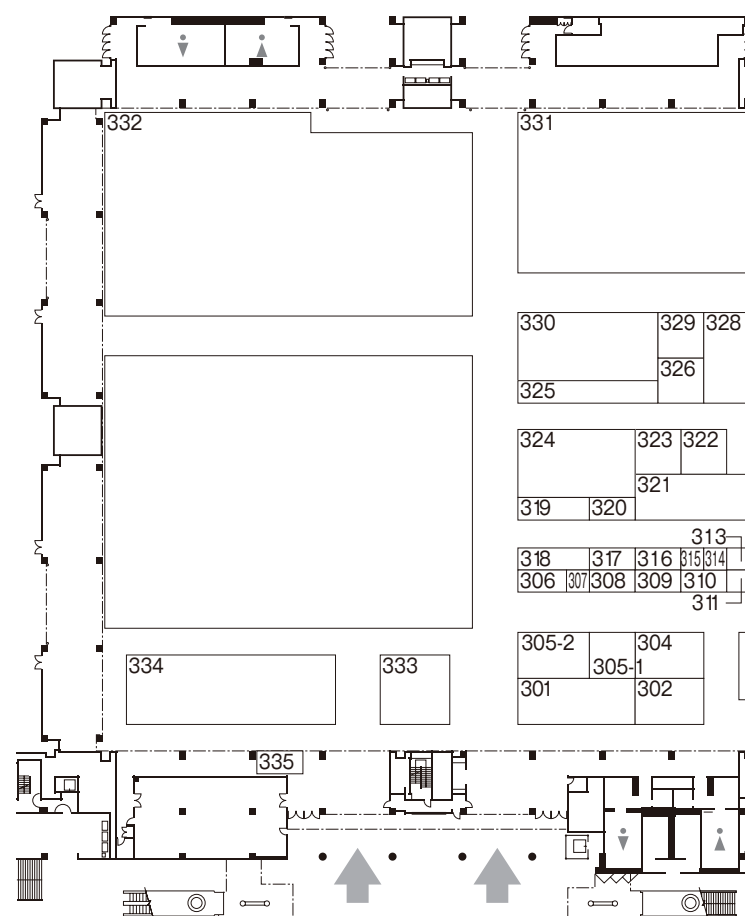


メイン入場ゲート  
Main Entrance Gate

W-5 西5ホール West Hall 5

**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

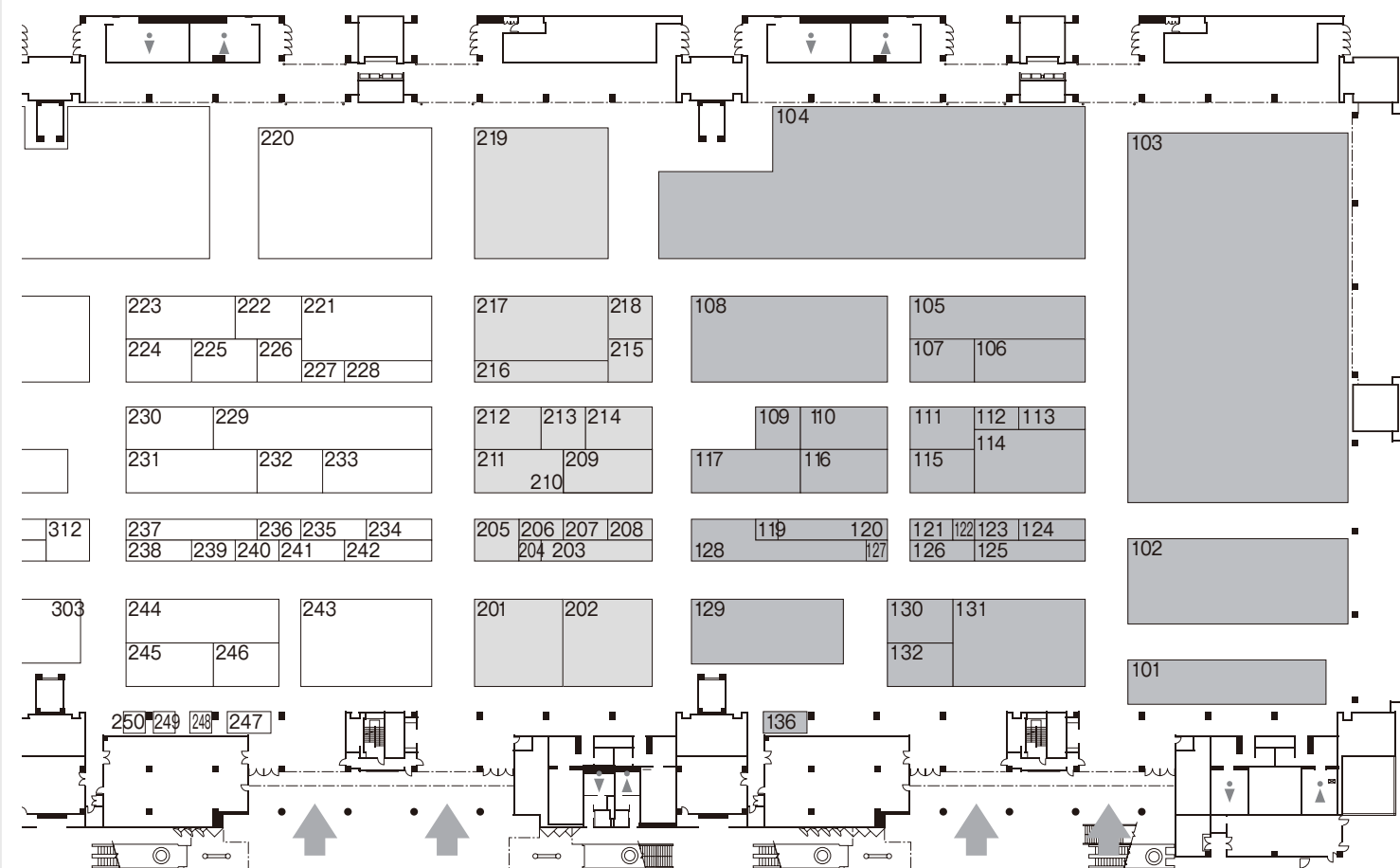
小間番号	出展者	出展者
Stand No.	Exhibitor	Exhibitor
<b>東1ホール East Hall 1</b>		
E101	サンエンジニアリング(株)	SUN Engineering Co.,Ltd.
E102	旭マシナリー(株)	ASAHI MACHINERY, LTD.
E103	三菱重工業(株)	Mitsubishi Heavy Industries.Ltd
E104	(株)桜井グラフィックシステムズ	SAKURAI GRAPHIC SYSTEMS CORPORATION
E105	(株)川瀬商会	KAWASE AND COMPANY LIMITED.
E105	Kris s. r. l.	Kris s.r.l.
E105	EMMECI S. R. L.	EMMECI GROUP
E106	菱栄機械(株)	Ryoei Machinery Co., Ltd.
E107	(株)イリス	K.K. IRISU
E108	(株)太陽機械製作所	TAIYO KIKAI LTD.
E109	(株)マシンテックス	Mashintex, Ltd.
E110	篠田商事(株)	Shinoda & Co.,Ltd.
E111	渡辺通商(株)	WATANABE TSUSHO CORP.
E112	(株)ジーエス・ユアサ ライティング	GS Yuasa Lighting Ltd.
E113	(株)山田紙工	YAMADA SHIKOH CO., LTO.
E114	(株)飯島製作所	IJIMA MFG.CO.,LTD.
E114	MEC SAROGLIA s.r.l.	MEC SAROGLIA s.r.l.
E115	(株)ヒューマンテック	HUMAN TECH.CO.,LTD
E115	キャムズ(株)	CAMS
E116	永井機械(株)	NAGAI MACHINERY CO., LTD.
E116	府中紙工(株)	Fuchu Shiko Co., Ltd.
E116	(株)妹尾製作所	Senoo Seisakusho
E116	(株)タカラ製作所	Takara Seisakusho
E117	岩井通商(株)	IWAI TSUSHO K.K.
E119	林栄精器(株)	REPIC CORPORATION
E120	(株)QIPC-JAPAN	Q.I. Press Controls Japan Co.,Ltd
E121	スーパーファックス インターナショナル(株)	SUPERFAX INTERNATIONAL CO.,LTD
E122	日本フローコントロール(株)	JAPAN FLOW CONTROLS CO.,LTD
E123	光陽化学工業(株)	KOYO CHEMICALS INC.
E124	(株)プロスパーククリエイティブ	PROSPER CREATIVE Co.,Ltd.
E125	丸紅マシナリー(株)	MARUBENI MACHINERY CO., LTD.
E126	(株)じむけん	DIMUKEN Inc.
E127	(株)丸昌	MARUSHO CO.,LTD.
E128	(株)須賀製作所	SUGA MANUFACTURING CO.,LTD
E129	(株)共同精機	KYODO PRECISION MACHINERY CO., LTD.
E129	(株)永井機械製作所	NAGAI MACHINE MFG.CO.,LTD.
E129	(株)内田洋行オーバー シーズ事業部	UCHIDA YOKO Co., Ltd.
E130	(株)テイク デジタル イメージング事業部	TAKE INC. Digital Imaging Dept
E131	三和製作(株)	SANWA MFG. CO., LTD.
E132	(有)加藤精機	KATO SEIKI CO.,LTD
E136	Daegu Gyeongbuk Printing Information Industry Cooperative	Daegu Gyeongbuk Printing Information Industry Cooperative
<b>東2ホール East Hall 2</b>		
E201	山田機械工業(株)	YAMADA KIKAI KOGYO CO., LTD.
E201	(株)西岡製作所	NISHIOKA MFG. CO., LTD
E201	富士機械(株)	Fuji Kikai Co., Ltd.



**E-3 東3ホール East Hall 3**

**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

E202	(株)勝田製作所	KATSUDA WORKS CO.,LTD
E203	明和ゴム工業(株)	MEIWA RUBBER CO., LTD.
E204	Tianjin Changrong Print and Packing Equipment Co., Ltd.	Tianjin Changrong Print and Packing Equipment Co.,Ltd.
E205	大洋精機(株)	TAIYO SEIKI CO.,LTD.
E206	Adphos Eltosch GmbH	Adphos Eltosch GmbH
E207	吉川化工(株)	Yoshikawa Chemical Co., Ltd.
E208	ジェービーイー(株)	JPE CO., LTD.
E209	(有)日光エンジニアリング	NIKKO ENGINEERING CO.,LTD.
E209	(有)日光企画販売	NIKKO KIKAKU HANBAI CO.,LTD
E210	ビーエロジヤパン(株)	Bielo Japan Co.,Ltd.
E211	FIDIA MACCHINE GRA- FICHE S.r.l.	FIDIA MACCHINE GRAFICHE S.r.l.
E212	(株)ヨシヤス	YOSHIYASU CO., LTD
E212	(株)スガ	SUGA CO.,LTD
E212	(株)カズマサ	Kazumasa Co., Ltd.
E213	(株)宇野製作所	UNO SEISAKUSHO CO.,LTD



**E-2 東2ホール East Hall 2**

**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

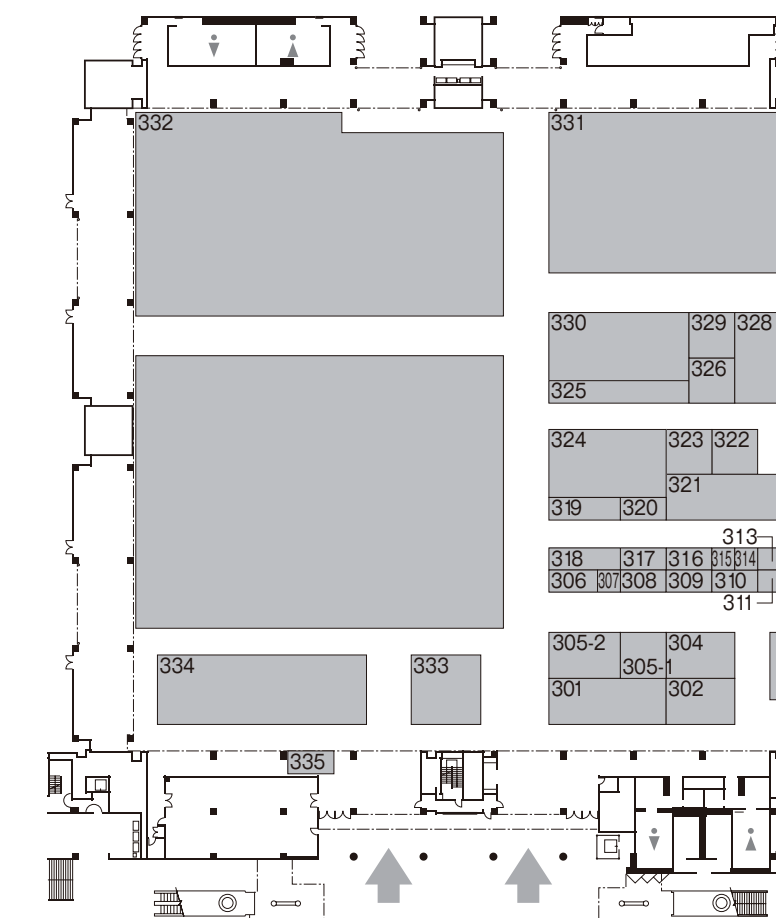
E214	芳野(株)	YOSHINO CO.,LTD.
E215	三菱商事テクノス(株)	MITSUBISHI CORPORATION TECHNOS
E216	(株)エム・シーケー	MCK CO.,LTD
E217	(株)尾製作所	OSAKO & CO.,LTD.
E218	三木プーリ(株)	Miki Pulley Co.,Ltd.
E219	(株)正栄機械製作所	SHOEI MACHINERY MFG.CO., LTD.

**E-1 東1ホール East Hall 1**

**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

小間番号	出展者	出展者
Stand No.	Exhibitor	Exhibitor
<b>東2ホール East Hall 2</b>		
E220	東京出版機械(株)	Tokyo Shuppan Machinery Co.,Ltd.
E221	アイマー・プランニング(株)	I.Mer co., ltd.
E222	(株)ナピコ	NAPICO Co., Ltd.
E223	デュボン(株)	DuPont K. K.
E224	テクノトランス・ジャパン(株)	TECHNOTRANS JAPAN K. K.
E225	ヘル・グラビア・ジャパン(株)	HELL GRAVURE JAPAN K.K.
E226	石塚産業(株)	ISHIZUKA CORPORATION
E227	安倍川マスター販売(株)	ABEKAWA MASTER CO., LTD.
E228	南精機(株)	MINAMI SEIKI CO., LTD.
E229	(株)ウチダテクノ	UCHIDA TECHNO CO.,LTD.
E230	ガデリウス(株)	GADELIUS K.K.
E231	(株)大西機械	OHNISHI KIKAI CO., LTD.
E231	(株)此花	KONOHANA CO., LTD.
E232	(株)ヤマトヤ商会	YAMATOYA & CO.,LTD.
E233	余田機械工業(株)	YODA MACHINERY CO.,LTD.
E234	安川シーメンス オートメーションドライブ(株)	Yaskawa Siemens Automation & Drives Corp. PRINTEC INTERNATIONAL, INC.
E235	(株)プリンテックインターナショナル	SPRAYING SYSTEMS CO.,JAPAN
E236	スプレーイングシステムスジャパン(株)	IWASHI CORPORATION
E237	(株)いわはし	IWAKI SANGYO Co., Ltd.
E237	岩城産業(株)	TOYOBO CO.,LTD
E238	東洋紡績(株)	NAGANO KIKAI CO., LTD.
E239	(有)ナガノ機械	GTB Co.,Ltd.
E240	(株)ジーティービー	NEW PORT CORP.
E241	(株)ニューポート	DNP TRADING CO.,LTD
E242	大日本商事(株)	Toray Industries, Inc.
E243	東レ(株)	JWPA (JAPAN WATERLESS PRINTING ASSOCIATION)
E243	日本WPA(日本水なし印刷協会)	ASSOCIATION)
E244	ヌールジャパン(株)	NUR JAPAN CO., LTD.
E245	東京応化工業(株)	TOKYO OHKA KOGYO CO.,LTD.
E246	伊藤ブックマシーン(株)	ITO BOOK MACHINE CO., LTD.
E247	(株)メッセデュッセルドルフジャパン	Messe Dusseldorf Japan Ltd. CARDINAL CO.,LTD
E248	カーディナル(株)	ASYS INC.
E249	(株)エイシス	DAIDO SHIKHO PRINTING CO.,LTD
E250	大同紙工印刷(株)	TOHO SEIKI CO., LTD.

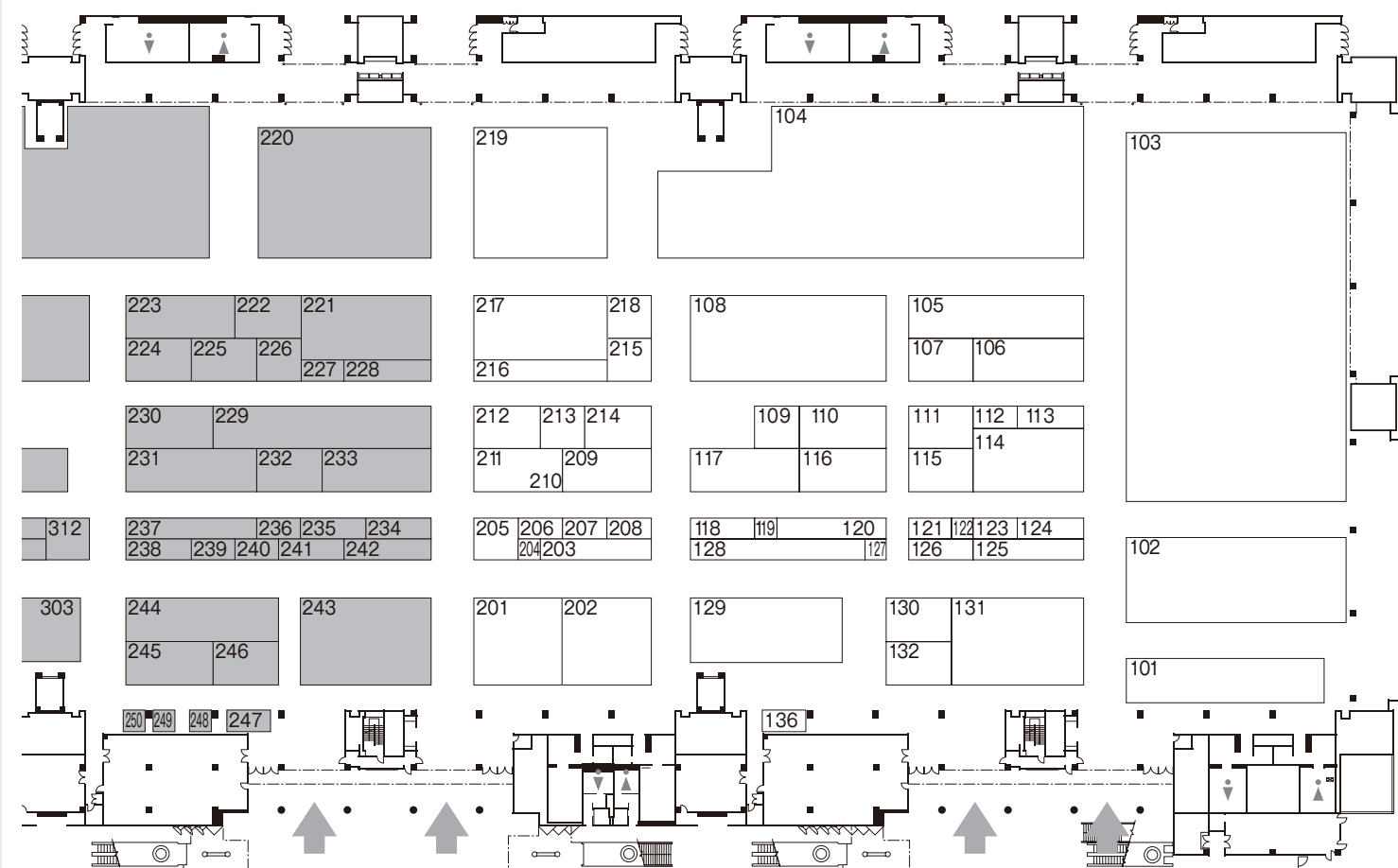
小間番号	出展者	出展者
Stand No.	Exhibitor	Exhibitor
<b>東3ホール East Hall 3</b>		
E301	東邦精機(株)	TOYO CORPORATION
E302	クオードテック日本支店	QUADTECH, INC.
E303	(株)コムテックス	COMTECS LTD.,CO.
E304	(株)笹岡工業	SASAOKA KOGYO CO.,LTD
E304	JAMES BURN INTERNATIONAL	JAMES BURN INTERNATIONAL
E305-1	(株)トーヨーコーポレーション	TOYO CORPORATION
E305-2	(有)アクセルグラフィックスジャパン	ACCEL GRAPHICS JAPAN,INC. QUIK TECHNO SYSTEM CO.,LTD
E305-2	(有)クイック・テクノ・システム	QUIK TECHNO SYSTEM CO.,LTD



**E-3 東3ホール East Hall 3**

**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

E305-2	(株)芝橋	SHIBAHASHI CO.,LTD.
E306	(株)いけうち	H.IKEUCHI&CO.,LTD
E307	(有)ヨコハマイクビメント	YOKOHAMA EQUIPMENT CO.
E308	(株)大床製作所	OTOKO MACHINERY WORKS.CO.,LTD.
E309	(株)二村商会	FUTAMURA & CO., LTD.
E310	東芝テック(株)	TOSHIBA TEC CORPORATION
E311	(株)デジタル・ストリームス	Digital Streams Co.,Ltd.
E312	(株)フューテック	FUTECH,INC
E313	ツジカワ(株)	Tsujikawa Co.,Ltd.
E314	(株)エムワイ・ビーム	MY BEAM CO.,LTD
E315	ECKART GmbH & Co. KG	ECKART GmbH & Co. KG
E316	ポンテケミカル(株)	PONTE CHEMICAL CO., LTD.
E317	(株)マイテック	MITEC CORPORATION
E318	Pantone Asia, Inc.	Pantone Asia, Inc.
E318	パントン・ジャパン・カンパニーリミテッド	Pantone Japan Co., Ltd.
E319	住商リース(株)	SUMISHO LEASE CO., LTD.
E320	(株)アルファエンジニア	INC ALPHA ENGINEERING CO.,LTD



**E-2 東2ホール East Hall 2**

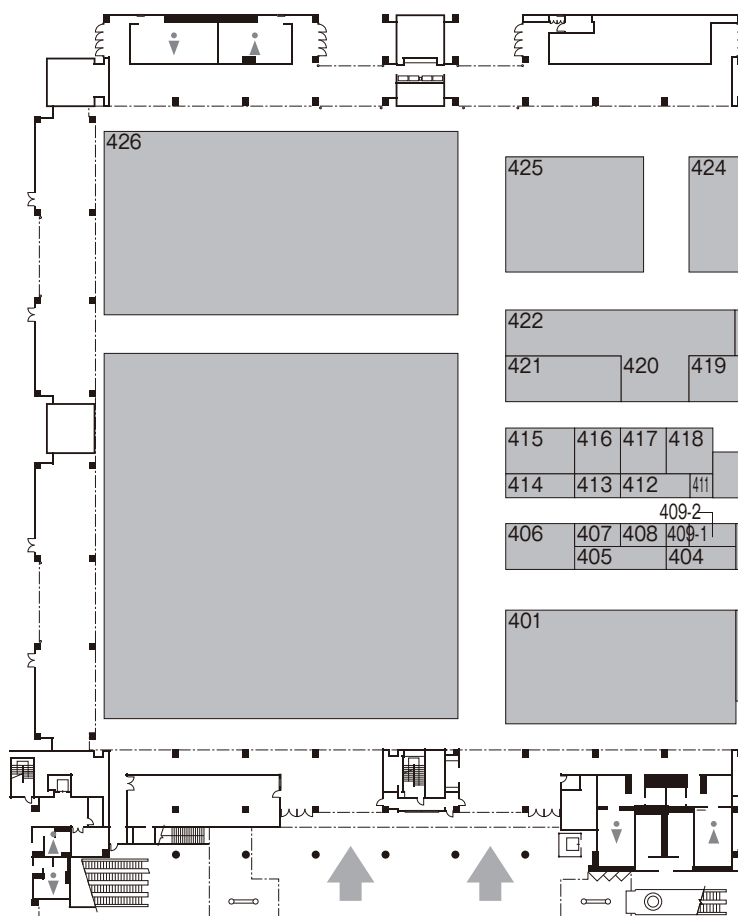
**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

E321	日本ジービーシー(株)	BC JAPAN K.K..
E322	日本電子精機(株)	NIHON DENSHI SEIKI CO., LTD.
E323	ミシマ(株)	MISHIMA CO., LTD.
E324	日本製図器工業(株)	NIHON SEIZUKI KOGYO CO.,LTD
E325	アイグラフィックス(株)	EYE GRAPHICS CO., LTD.
E326	ウエノ(株)	Ueno Corporation
E328	東京印刷機材トレーディング(株)	Tokyo Printing & Equipment Trading Co., Ltd.
E328	GMP CO., LTD.	GMP CO., LTD.
E329	(株)マイクロ・テクニカ	Micro Technica .Co.,LTD.
E330	トレスジャパン(株)	TRESU JAPAN CO.,LTD
E330	(株)インターテック	INTERTECK CO., LTD.
E331	(株)ホリゾン東テクノ/ホリゾン西コンサル	HORIZON INTERNATIONAL .INC.
E332	(株)小森コーポレーション	KOMORI CORPORATION
E333	(株)日研化学研究所	NIKKEN CHEMICAL LABORATORY CO.,LTD.
E334	シトマ ジャパン(株)	SITMA JAPAN K.K.
E335	(株)村田金箔	MURATA KIMPAKU CO.,LTD

**E-1 東1ホール East Hall 1**

**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

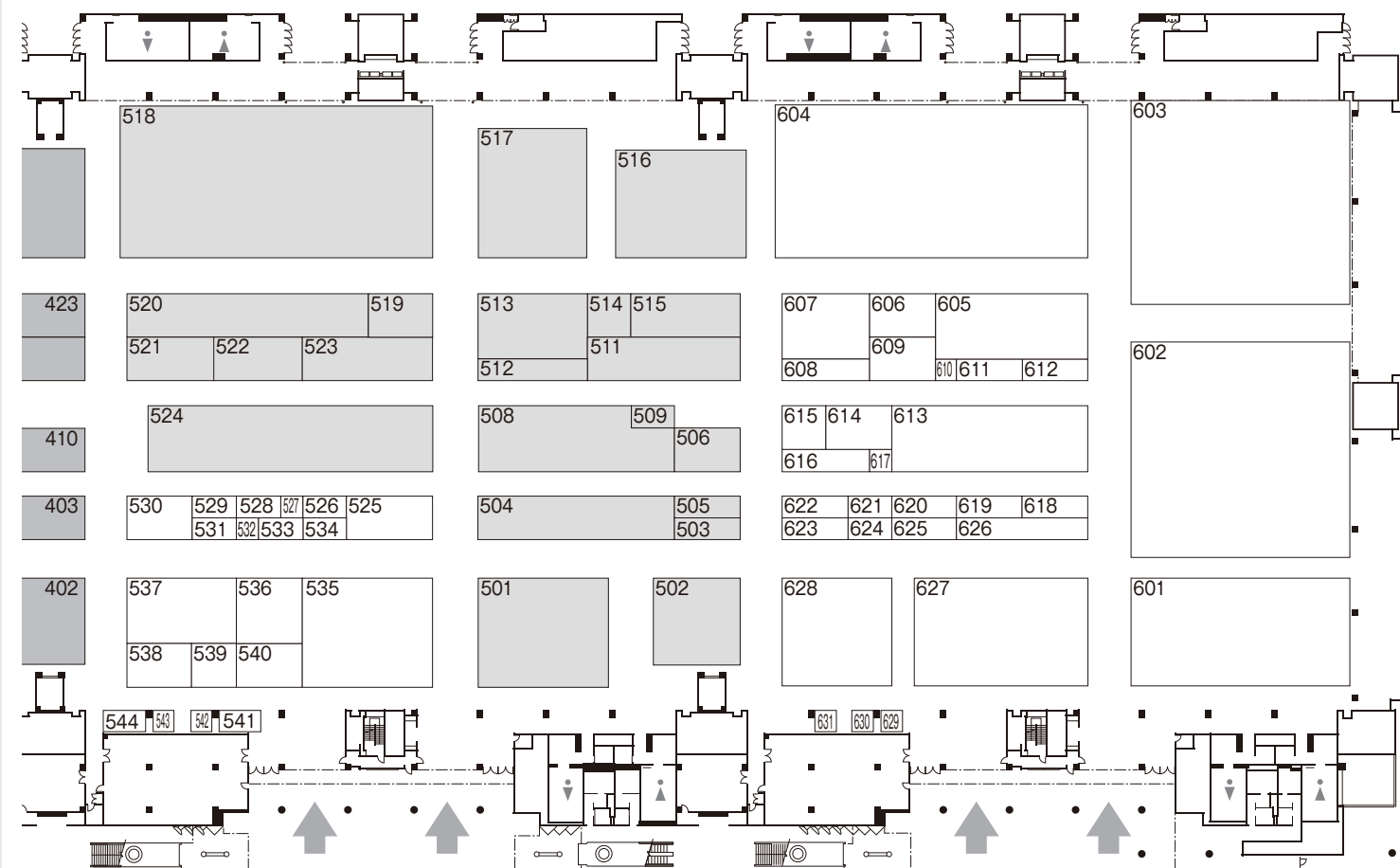
小間番号	出展者	出展者
Stand No.	Exhibitor	Exhibitor
<b>東4ホール</b>	East Hall 4	
E401	西華産業(株)	SEIKA CORPORATION
E401	(株)エスケイセールス	SK SALES AND SERVICE CO.,LTD
E402	(株)コスモテック	COSMOTECH CO.,LTD.
E403	(株)加貫ローラ製作所	KATSURA ROLLER MFG.CO.,LTD
E404	倉敷紡績(株)	Kurabo Industries Ltd.
E405	エス・ディジー(株)	S.D.G.K.K.
E406	コムネット(株)	COMNET CO.,LTD
E407	兼房(株)	KANEFUSA CORPORATION
E408	(株)エム・エム・ティ	M.M.T. INC.
E408	オーデン通商(株)	OHDEN LIMITED
E409-1	WUXI TELIMING FILM CO., LTD	Wuxi Teliming Film Co., Ltd.
E409-2	(株)サイトーエンジ	SAITOENGE
E410	岩崎通信機(株)	IWATSU ELECTRIC CO.,LTD
E411	(株)堀鉄工所	HORI IRON WORKS CO., LTD.
E412	(株)富田技研	Tomitagiken Co.,Ltd.
E413	(株)平河工業社	HIRAKAWA KOGYOSHA CO., LTD.
E414	(株)サム技研	SOME ENGINEERING CORP.
E415	(株)セイコーアドバンス	SEIKO ADVANCE LTD.
E416	オリンパス(株)	OLYMPUS CORPORATION
E417	(株)小池製作所	Koike Manufacturing Co., Ltd
E418	(株)錦精社	KINSEISHA Co.,Ltd.
E419	(株)ニレコ	NIRECO CORPORATION
E420	(株)インターコスモス	INTER COSMOS CORPORATION
E421	エスコグラフィックス(株)	Esko-Graphics Co., Ltd.
E422	(株)インターコスモス	INTER COSMOS CORPORATION
E423	(株)北電子 印刷製本事業部	KITADENSHI CORPORATION
E424	日本ボールドウィン(株)	BALDWIN-JAPAN LTD.
E425	ニッカ(株)	NIKKA LIMITED
E426	ハイデルベルグジャパン(株)	HEIDELBERG JAPAN K.K.



**E-4 東4ホール East Hall 4**

**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

E509	(株)神光鋳力印刷工場	SHINKO LITHOGRAPHING CO.,LTD
E511	(株)木田鉄工所	KIDA IRON WORKS CO.,LTD
E512	(株)共立機械製作所	KYORITSU MACHINERY CO., LTD.
E513	(株)ベルパック	BELPAC CO.,LTD
E513	廣瀬鉄工(株)	HIROSE IRON WORKS CO., LTD
E513	ダックエンジニアリング(株)	DAC ENGINEERING CO.,LTD.
E514	(株)シンク・ラボラトリー	Think Laboratory Co.,Ltd.
E515	(株)フロンテック	FRONTEC CORPORATION
E516	(株)工藤鉄工所	KUDO IRON WORKS CO., LTD.
E516	イトーテック(株)	ITOTEC CO.,LTD
E517	ハマダ印刷機械(株)	HAMADA PRINTING PRESS CO., LTD.
E518	(株)篠原鉄工所	Shinohara Machinery Co., Ltd.
E519	ホーム工業(株)	fourmen co.,ltd
E520	ビービーエム(株)	PBM CO., LTD.
E520	ナカバヤシ(株)	NAKABAYASHI CO.,LTD.
E521	(有)三光	SANKOH CO.,Ltd.
E522	富士機材サービス(株)	FUJIKIZAI SERVICE CO.,LTD
E523	エピックジャパン(株)	EPIC JAPAN LTD.



**E-5 東5ホール East Hall 5**

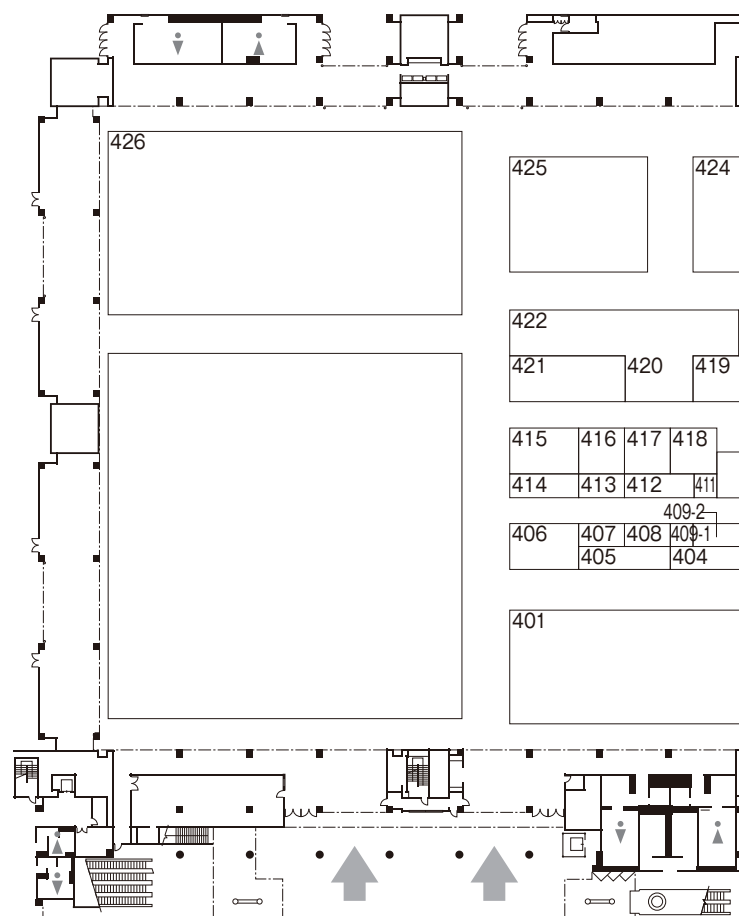
**E-6 東6ホール East Hall 6**

**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

E523	女神インキ工業(株)	MEGAMI INK MFG CO LTD
E523	マルカキカイ(株)	Maruka Machinery Co., Ltd.
E524	ミュラー・マルティニジャパン(株)	MULLER-MARTINI JAPAN LTD.

**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

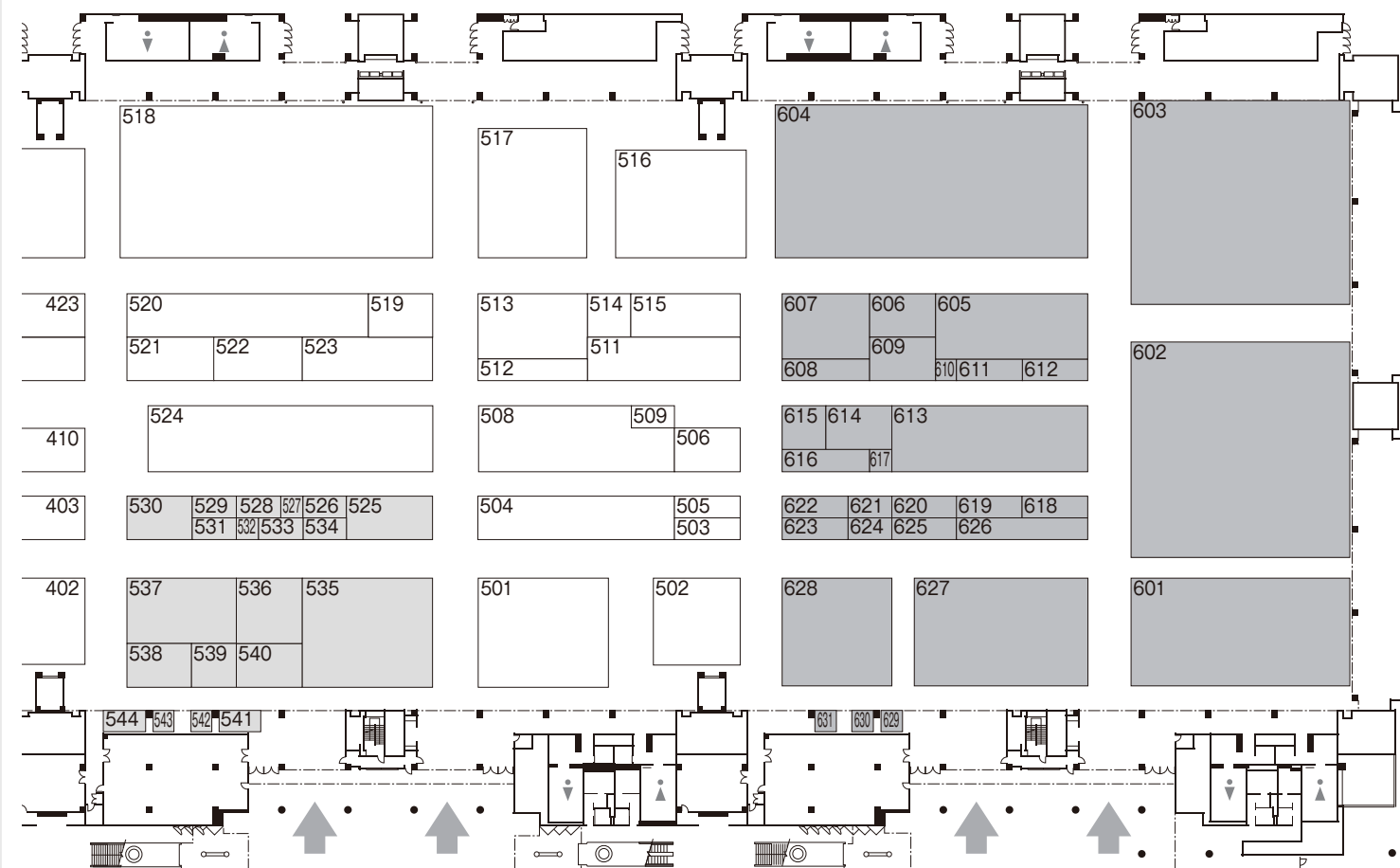
小間番号	出展者	出展者
Stand No.	Exhibitor	Exhibitor
<b>東5ホール East Hall 5</b>		
E525	デイ・インターナショナル(株)	Day International K.K.
E526	Fiberweb	Fiberweb
E527	全米印刷機材業者連合会	NPES
E528	MEGTEC Systems Inc.	MEGTEC Systems Inc.
E529	H. Schoenenberger GmbH	H. Schoenenberger GmbH
E530	四川炬光印刷器材有限公司	Sichuan Juguang Printing Apparatus Co., Ltd.
E530	Chengdu Xingraphics Co., Ltd.	Chengdu Xingraphics Co., Ltd.
E531	コンチテック エラストマーコーティングス GmbH	ContiTech Elastomer-Beschichtungen GmbH
E532	HO NIN & COMPANY	HO NIN & COMPANY
E533	ピーエスイソリューションズ(株)	PSE-SOLUTIONS CO.,LTD.
E533	Welltec System Co.,Ltd	Welltec System Co.,Ltd
E534	Graphic Whizard Inc.	Graphic Whizard Inc.
E535	ウェブテック(株)	WEBTECH CO., LTD
E536	(株)ナナオ	EIZO NANA O CORPORATION
E537	(株)三浦鉄工所	miura iron works co,ltd
E538	CGS Japan (株)	CGS Japan,Inc.
E539	(株)ジー・エー・エス	G.A.S.CO.,LTD.
E540	(株)金陽社	KINYOSHA CO.,LTD.
E541	Sinsakhon Printing City & Industrial Estate	Sinsakhon Printing City & Industrial Estate
E542	アイジーティーテストシステムズピーヴィ	IGT Testing Systems B.V.
E543	KIPES 2008 (Korea E&E Inc.)	KIPES 2008 (Korea Int'l Printing Machinery & Equipment Show)
E544	RILECART PTE. LTD.	RILECART PTE. LTD.
E544	(有)ヒロ商事	HIRO Company



**E-4 東4ホール East Hall 4**

**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

E610	(株)内田マシンリー商会	UCHIDA MACHINERY CO.,LTD
E611	(株)ナカタニ	NAKATANI CO., LTD.
E611	オリオン機械(株)	ORION MACHINERY CO.,LTD.
E612	日本欄野工業(株)	NIHON RANKEI KOGYO CO.,LTD
E613	バース・ジャパン(株)	Buhrs Japan K.K.
E614	日本マクダーミッド(株)	Nippon MacDermid Co., Ltd.
E615	テクノロール(株)	TECHNO ROLL CO.,LTD
E616	(株)東洋化学商会	TOYO KAGAKU SHOKAI CO., LTD.
E617	フォーレックス(株)	Folex Ltd.
E618	平和機械(株)	Heiwa Machinery Co., Ltd.
E619	ボッシュレックスロス(株)	Bosch Rexroth Corporation
E620	(株)伸興	SHINKO CO., LTD.
E621	(有)テシコン	TECHKON Co., Ltd.
E622	(株)東京製作所	TOKYO SEISAKUSHO CO.,LTD
E623	ベッカーエアテクノ(株)	BECKER AIRTECHNO CO., LTD.
E624	大崎化学薬品(株)	OSAKI CEMICAL CO.,LTD
E624	中山大崎印刷材料有限公司	ZHONGSHAN OSAKI PRINTING MATERIAL CO.,LTD



**E-5 東5ホール East Hall 5**

**小間番号 出展者**  
Stand No. Exhibitor

E625	ビーエステイ日本(株)	BST Japan Ltd.
E626	日本包装機械(株)	NIPPON HOSO-KIKAI CO.,LTD
E627	(株)ミヤコシ	Miyakoshi Printing Machinery Co.,Ltd.
E628	(株)東京機械製作所	Tokyo Kikai Seisakusyo, Ltd.
E629	(株)京葉光器	KEIYO MAGNIFIER CO.,LTD.
E630	(株)真砂商会	MASAGO AND COMPANY,INC.
E631	(株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン	KNF JAPAN CO.,LTD

**E-6 東6ホール East Hall 6**

## 【IGAS 2007委員会】

会長	小森 善治	社団法人 日本印刷産業機械工業会
副会長	山本 幸平	印刷機材輸入協議会
副会長	小江 紘司	印刷インキ工業会
副会長	井上 伸昭	製版機材協議会
副会長	白井 宏	社団法人 日本印刷産業機械工業会
委員	石田 明	社団法人 日本印刷産業機械工業会
委員	宮腰 巖	社団法人 日本印刷産業機械工業会
委員	篠原 幹夫	社団法人 日本印刷産業機械工業会
委員	堀 英二郎	社団法人 日本印刷産業機械工業会
委員	井田 修	印刷機材輸入協議会
委員	永瀬 真一	印刷機材輸入協議会
委員	大橋 淳男	印刷インキ工業会
委員	村田 憲治	製版機材協議会
委員	藤澤 恭平	製版機材協議会
委員	城所 守	株式会社 印刷出版研究所

## 【IGAS事務局】

代表幹事	竹内 時男	社団法人 日本印刷産業機械工業会
幹事	小松原 正志	印刷インキ工業会
幹事	関本 仁志	印刷機材輸入協議会
幹事	沼尾 佳憲	製版機材協議会
事務局	二茅 孝文	株式会社 印刷出版研究所
事務局	長沼 勉	社団法人 日本印刷産業機械工業会
事務局	加瀬 元禮	印刷機材団体協議会
事務局	上滝 通泰	印刷機材団体協議会

## 【IPC 2007委員会】

主査	山崎 孝	富士フイルムグラフィックシステムズ 株式会社
委員	大田 瞳	ハイデルベルグ・ジャパン 株式会社
委員	高橋 靖明	社団法人 日本印刷産業連合会
委員	友久 国雄	大日本スクリーン製造 株式会社
委員	沼尾 佳憲	株式会社 印刷出版研究所
委員	山口 秀昭	株式会社 小森コーポレーション
委員	弓木 慶一	社団法人 日本印刷学会
委員	ホルガー ヴィッティヒ	印刷機材団体協議会